



法学部

■ 法学科

法政展開
司法特修
公務行政特修



取得学位	学士(法学)
アドミッション・ポリシー	法学部は、次に掲げる3つのことをすべて満たす者を、入学者として積極的に受け入れます。 1 中等教育修了程度の基礎学力を有していること 2 法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養を有していること 3 立命館大学法学部の人材育成目的を理解し、法学・政治学の学びに強い意欲を有していること また、法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養(2)の有無を判断するにあたっては、社会科学に関する基本的な語彙の知識(漢字の読み書きの力を含む)、論理的思考力、文章読解力、文章表現力(理解した内容やこれに基づく自己の見解を口頭で述べる力を含む)、歴史や政治経済に関する基礎的な知識、および英語をはじめとする外国語の基礎的素養の有無ならびに程度を重視します。

現代社会に生きる法と政治を学ぶ

法学部には法曹を目指す学部というイメージがあると思います。確かに、裁判官、検察官、弁護士といった司法の領域では、法学部で学んだ人たちが活躍しています。しかし、それらは法学部生の進路の一つに過ぎません。社会の基盤を支える公務員をはじめ、企業、民間団体の職場など社会のさまざまな場面で法の知識を持った人が、その能力を発揮しています。グローバル化の中、公正な自由競争社会の実現のためにも法の遵守が必要で、日常的なビジネス取引の場面でもコンプライアンスの徹底が求められています。緻密な思考、論証・証拠に基づいた議論ができる法の専門家は、従来から社会の根幹を成すさまざまな分野で必要とされてきましたが、近年では、ビジネスの現場でも、法の知識を持った人材がより強く求められるようになっていきます。

法学部は、設立以来、歴史と伝統を積み重ねる中で常に社会・市民との接点を意識し、法の知識を学ぶとともに、バランス感覚を磨き、弱者の立場で社会正義を追求する姿勢も大切に守ってきました。このような伝統を継承しながら、常に社会と向き合い、時代にふさわしい法と政治を追求して、生きた知識を学んでください。

PICK UP!

法曹進路プログラム(法曹コース) → P.019

このプログラムでは、法科大学院と連携し一貫した教育体制のもとで「より早く、より効率的に」司法試験合格を目指すことができます。



STUDENT'S VOICE

法律を通して社会と関わり、知識で人を助ける弁護士へ。

法学部を志望したのは、弁護士になりたいと考えたからです。高校生の時、裁判を傍聴したことがきっかけで法律に興味を持ちました。もともと人の役に立ち、誰かを助ける仕事がしたいと考えていたところ、両親から弁護士の先生に助けてもらった経験聞き、自分の知識で人を支える仕事に魅力を感じるようになりました。立命館大学の法学部を選んだのは、弁護士になるという目標を実現するための最適な環境が整っていると考えたからです。例えば、司法試験の受験資格を獲得する方法の一つに法科大学院の卒業があります。立命館大学は4つの法科大学院と提携しており、受験資格を得られる入試制度があるため、将来の進路に対する選択肢が広がると感じました。また、同じ目標を持つ意欲的な学生たちが集う環境であると感じたことも大きな決め手でした。

現在は司法特修に所属し、法曹進路に特化したカリキュラムを履修しています。憲法、民法、刑法の3法を中心とした基礎科目を学ぶ一方、司法特修生のみが履修できる特修系科目では、具体的なケーススタディを通じて論述力を養っています。これらの授業を通して身につけた法律の知識は、単なる理論に留まらず、実社会での法の役割やその重要性を再認識させてくれました。例えば「会社法」では、企業運営の基礎知識を理解し、「刑法」では犯罪にまつわる現代社会の問題を深く掘り下げるなど、学びを通じて社会の仕組みを多面的に把握する視野を得られたと考えています。

将来の目標は、法科大学院に進学し、刑事事件を専門とする弁護士になることです。刑事裁判の弁護においては、真相を究明し、最適な結果を導き出すためにも、被疑者側の意見を代弁することが重要だと考えています。刑事事件で弱い立場に置かれる被告人の利益の擁護を通じて、司法の中立性と公正さを追求する弁護士になりたいです。



佐木 あすか さん

法学部 法学科 3回生
大阪府立天王寺高校出身

4年間の学び

2025年度から新カリキュラムになりました。



- ・上記は2026年度のカリキュラム（予定）です。科目名称などが変更になる場合があります。
- ・一部科目を除き専門科目は法学部生全員が受講可能です。
- ・特修では必ず受講登録しなければならない科目があります。
- ・「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「社会に生きる法」「専門演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究」は必ず受講登録しなければなりません。
- ・特修は1回生時の成績によっては、選択できない場合があります。

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

カリキュラムについての詳細は ▶ 

外国語の選択	[必修] 英語 [選択] ドイツ語／フランス語／スペイン語／中国語／朝鮮語 英語を含めた2つの外国語が必修。国際社会で通用する高度な外国語運用能力を身に付けることを目標とします。
法学部英語展開プログラム	学部の専門性と英語運用能力を同時に高める法学部独自のプログラムを設置しています。

PICK UP 法学部独自の海外留学プログラム

法学・政治学に関する基礎的な知識や世界観を築き、より高次の学修へつなげることを目指す海外研修です。プログラムでは、イギリスやオーストラリア、アセアン諸国の大学等を訪問し、現地の法や政治を学ぶことで専門領域に対する関心を高め、英語で情報を収集・発信できる英語運用能力の基礎を築くことを目指します（2025年度現在）。

※これらのプログラムは、現地への渡航が安全でないと判断された場合は、中止となることがあります。

詳しくは
学部 HP へ








プログラム・特修

法政展開

法学・政治学の基礎をしっかりと鍛えたうえで、自分に合った現代社会のテーマを選ぶ。

法学・政治学は、社会で起きる紛争や利益の対立を、公正かつ公平に解決する方法を研究する学問です。国際化やボーダーレス化、IT技術の発展などにともなって社会が複雑化するに従い、ルールの持つ意味が重要性を増しています。司法の場のみならずビジネスや行政においても、新たなルールづくりが求められる場面も少なくありません。将来、法学・政治学を軸に社会に貢献したいと考える学生を対象に5つの専門化プログラムを設け、専門領域を系統的に学修できる環境を整えています。

■現代社会の幅広いテーマに対応する5つの「専門化プログラム」

 国際関係法	 ビジネス・企業法	 生活・環境法	 刑事・人権法	 政治・市民社会
国内外の法律を学び、国際的な企業活動に必要な世界経済や社会システムなどの要素を身に付けます。	民間企業や金融機関で必要とされる法律知識を修得し、応用可能な基本的能力を身に付けます。	市民生活に発生する環境・家族をめぐる諸問題に対して、法的に対処する基本的能力を身に付けます。	国家と行政権力との間で発生する市民の人権に関わる法的問題を理解し、専門的知識を修得します。	市民社会の立場から政府や国の活動、選挙や権力の問題を学ぶとともに、マスコミが政治へ与える影響を学びます。

司法特修

早い段階から高度な専門領域を学び、法科大学院進学レベルの力をつける。

法律専門職を養成する法科大学院（ロースクール）への進学を目指す学生が主な対象です。将来の希望と同じくする学生とともに学修を進めるので、早い段階から高いレベルにまで踏み込んだ知識の修得が可能です。2回生より、法科大学院への進学に必要な学力を身に付けられるよう、特修独自の科目を履修。法務研究科（法科大学院）専任教員が担当する科目も開講しています。また、模擬裁判を行う「訴訟法務入門演習」をはじめ、法律事務所で弁護士に仕事を学ぶ「法務実習」などの科目も充実しています。

CHECK! 法学部生による模擬裁判の一部をYouTubeでご覧いただけます ▶ 



■法曹進路プログラム〈法曹コース〉

法学部では、司法特修に「法曹進路プログラム」を設置しています。このプログラムは、2回生以降に登録し、法学学の基礎である7法（憲法・民法・刑法・商法・行政法・民事訴訟法・刑事訴訟法）について、より効率的・効果的に学修を進めます。このプログラムの修了により、立命館大学法科大学院、中央大学法科大学院、名古屋大学法科大学院および神戸大学法科大学院の特別選抜入試の受験資格を得ることができます。早期卒業制度を利用すれば、3年で法学部を卒業し（早期卒業）、特別選抜入試での法科大学院の合格／進学により5年間で司法試験の受験にチャレンジすることもできます。新しい情報はHPをチェックしてください。

詳しくは
学部 HP へ



公務行政特修

政治・行政の諸問題に対応できる法律の知識と政策立案能力を修得する。

将来、公務員を希望する学生が主な対象です。政策立案の領域では、2回生春学期に履修する「公務行政入門演習」で学びの土台となる基礎を固めた上で系統的にレベルアップ。一方、キャリア実現のための取り組みとして、公務員試験合格に向けての基礎的な実力を養うことができる「公務行政学演習」および「公務行政法演習」を、2回生秋学期に受講します。市役所などで公共の仕事を体験できる科目なども設置し、実社会で活躍するための実践的な力を身に付けます。



■市役所や公共機関で実務を体験。進路意識を高める「公共政策実習」

地方自治体や公共機関など公務の現場で実際の業務を体験する科目です。実習では現場が抱えている問題や、学問と行政、公共機関との関わりを学修。また、実習先から示される街づくりの課題などにも取り組んで政策提案を行います。実習とその効果をいっそう高めるための事前・事後の研修、さらに実習での発見や考察を自治体の職員と住民に対して発表する機会や実習報告会も設けて、プレゼンテーション能力の向上を図ります。実習レポートを作成することで、課題を発展的に探究し、論述する能力も養うことができます。

教員紹介・進路

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

青木 克也	〈労働法〉フランチャイジーの労働者性（日独比較研究）
安達 光治	〈刑法〉刑法における因果関係と客観的帰属の理論
安保 寛尚	〈スペイン語〉米国帝国主義下におけるキューバのナショナリズムと黒人芸術運動
石橋 秀起	〈民法〉民法不法行為法における諸問題
石原 浩澄	〈英語〉20世紀の英文学研究と文学批評の動向
井畑 陽平	〈経済法〉デジタル市場における自由な競争と取引の公正性に関する研究
岩淵 重広	〈商法〉倒産局面にある会社の取締役の義務と責任、デジタル技術を用いた資金調達手法に対する法規制のあり方
植松 健一	〈憲法〉「安全」に関する憲法的考察、ワイマール議会制の研究
臼井 豊	〈民法〉デジタル遺品の法的運命、AIによる契約締結上の諸問題
Wolf Michael L.	〈英米法〉American Law, Contracts, Constitutional Law
大西 祥世	〈憲法〉企業における人権尊重責任、二院制議会における憲政と憲法
小田 美佐子	〈アジア法〉私法分野を中心とした中国法と日本法等の比較的検討
嘉門 優	〈刑法〉現代における刑事立法論、法益論の検討
川中 啓由	〈民事手続法〉倒産債権の優先順位
菊地 諒	〈法哲学〉英米の法理論・法思想
木村 和成	〈民法〉人格権をめぐる諸問題の理論的検討／大審院（民事）判決形成過程の研究
倉田 原志	〈憲法〉労働関係における人権保障
藏藤 健雄	〈英語〉形式意味論、生成文法
河野 恵一	〈日本法史〉前近代日本、特に中〜近世社会における法と紛争解決のありかた
小堀 賢裕	〈比較政治〉イギリス現代政治、ヨーロッパ政治
小松 浩	〈憲法〉イギリス・日本を中心とした議会制民主主義
佐藤 渉	〈英語〉現代オーストラリア文学
品谷 篤哉	〈商法〉内部者取引規制、取締役の忠実義務
清水 拓磨	〈刑事訴訟法〉司法取引、えん罪の防止とその救済
清水 円香	〈商法〉企業結合と取締役の義務責任
須藤 陽子	〈行政法〉警察法理論と比例原則
高橋 直人	〈西洋法史〉近代ドイツ刑事法（学）の成立と発展
多田 一路	〈憲法〉社会的民主主義、社会的経済的権利の保障または実現
田中 悠美子	〈民事訴訟法〉民事裁判手続における手続保障の在り方
谷 遼大	〈行政法〉参加権の基礎理論、環境法における権利
谷江 陽介	〈民法〉締約強制理論に関する研究
谷本 圭子	〈民法〉契約法において消費者概念がもつ法的意味についての研究

田原 憲和	〈ドイツ語〉19世紀におけるルクセンブルク語およびルクセンブルク文化研究
遠山 千佳	〈日本語〉第二言語における談話構築能力の発達
徳川 信治	〈国際法〉人権の国際的保障
徳久 恭子	〈政策形成論〉現代日本政治、教育政策、コミュニティ政策
中西 千香	〈中国語〉現代中国語における前置詞の機能分化、中国語教育におけるレアリアの効果的活用
中谷 崇	〈民法〉私法上の錯誤・法律行為
西村 翼	〈現代日本政治論〉日本政治、議員・政党研究、特に議員による政治的代表
西村 めぐみ	〈国際政治学〉南コーカサスへの民主化支援と武力紛争後の移行期の正義措置
畑中 麻子	〈知的財産法〉知的財産の紛争解決に関する理論研究、現代社会における著作権法の基礎研究
樋爪 誠	〈国際私法〉国際契約法の規整方法に関する体系的研究
本田 稔	〈刑法〉刑法理論の歴史的形成過程の分析、刑事判例の批判的検討
正木 宏長	〈行政法〉行政法と官僚制
松尾 剛	〈フランス語〉第三共和制下の政治と文学
宮井 雅明	〈経済法〉独占禁止法、国際取引に対する公法的規制
宮脇 正晴	〈知的財産法〉商標法、不正競争防止法における営業上の標識保護に関する新たな基礎理論の構築
村上 剛	〈政治心理・行動学〉投票行動におけるヒューリスティクスの機能と効果
望月 爾	〈税法〉納税者の権利の確立と保護の視点からの税法研究
本山 敦	〈民法〉現代社会にふさわしい相続・遺言制度の検討・構築
森久 智江	〈刑事訴訟法・犯罪学〉修復的司法、犯罪行為者・非行少年の社会復帰と被害
安井 栄二	〈税法〉連結納税制度の研究
柳 至	〈行政学・地方自治論〉行政活動や地方自治体における公共政策に関する研究
山田 希	〈民法〉複数の契約関係における相互的な影響
山田 泰弘	〈商法〉株主代表訴訟、役員等の義務・責任、会社法制の立法史的研究
山本 圭	〈政治理論・政治思想史〉現代政治理論・民主主義論
山本 忠	〈社会保障法〉障害のある人の総合的生活保障のための法政策的研究
湯山 智之	〈国際法〉国家責任法を中心とした国際法の研究
吉岡 公美子	〈英語〉文学理論、20世紀アメリカ小説
吉次 介介	〈日本政治史〉戦後日本政治外交史
Jackson, Lachlan	〈英語〉教育学、社会言語学、国際結婚におけるバイリンガル子育て
渡辺 千原	〈法社会学〉科学、医療と裁判

詳しくはこちら ▶



卒業生からのメッセージ

模擬裁判で培った多角的に物事を見る力が
多様な視点から課題に向き合う今に活かしている。

大学進学で故郷の石川県を離れたことで、その良さと課題が見えてきて、石川県に貢献したいという気持ちが湧き、県庁職員を目指しました。現在は地域振興課で、地域活性化を推進する業務に携わっています。大学時代に力を入れたのが、ゼミナール活動です。国際社会で起きた事件の判例を基に、模擬裁判に取り組みました。仲間と協力して判決文を読み、議論して主張を練る日々。相手国役や裁判官役がどのような主張や質問を行うかを考える中で、物事を多角的に見る力が鍛えられました。業務で課題に向き合った時、さまざまな視点から解決策を考えることができるのも、そのおかげです。現在石川県は、2024年に発生した能登半島地震からの復旧・復興の途上にあります。被害を受けた地域をどう活性化していくか。大きな課題に対し、自分ができることを見つけていきたいと思っています。

2017年、法学部入学。国際法のゼミナールに所属し、国際事件の判例を使った模擬裁判に取り組むほか、他大学とのディベート大会にも出場した。2021年4月、石川県庁に入庁。総務部税務課に着任。2024年4月、企画振興部地域振興課に異動。石川県の地域活性化に尽力している。



馬場 友香さん

石川県 企画振興部 地域振興課
(法学部 法学科 2021年卒業)

電気の新サービスを考案する業務で
条文を読み、解釈する力の重要性を実感。

現在は、法人のお客様向けに、電気の新プランや既存サービスの機能拡張を検討する業務や、再生可能エネルギーを用いるメニューの運用、制度設計に携わっています。大学時代、思い出に残っているのが、2回生の時「イギリス法政スタディ」*でイギリスのケンブリッジ大学に短期留学したことです。英米法の講義や模擬裁判、試験などすべてが英語のみで大変でしたが、英語力の向上だけでなく、現地の学生と親しくする中で、立場や文化の違いを超えて議論する力を身につけました。現在は、法学部生活を通して培った、条文を読み実務と照らし合わせて解釈する力を活用し、民法や独占禁止法などに依拠した、約款や契約書を作成する業務を行っています。今後、より多くのお客様のニーズに沿ったメニューを提供するために、法令や国の施策に目を向けつつ、基礎力を高め続けていきたいと思っています。

※現：法政海外フィールド・スタディ

2018年、法学部入学。2回生の時、「イギリス法政スタディ」に参加し、イギリスに短期留学。エネルギーインフラの中でも、電力の安定供給のみならず、カーボンニュートラルに向けた変革にも挑戦できるところに魅力を感じ、2022年4月、東京電力エナジーパートナー株式会社に入社。法人営業部に配属。



藤村 一史 さん

東京電力エナジーパートナー株式会社 法人営業部 契約企画グループ
(法学部 法学科 2022年卒業)

より高度な学び〈大学院進学〉

法学部での学びをさらに深め、より高度な専門的知識を身に付けて、それを社会で活かしたい人には、大学院へ進学するという選択肢があります。立命館大学には、学部を基礎とする法学研究科や専門職学位課程をもつ法務研究科（法科大学院）があります。

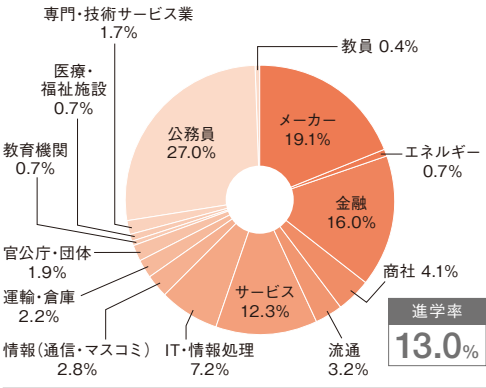


進路・就職状況

法的思考力を活かし、多様な民間企業や公務員、法曹界で活躍。

卒業生は、法律の知識を活かし、幅広い分野に就職しています。また、13.0%の学生は大学院などへ進学し、より高度な専門知識を修得し社会で活躍しています。

[2023年度卒業生 業種別進路決定状況]



[2023年度卒業生 進路・就職先一例]

(株) IHI	資生堂ジャパン (株)	ニチコン (株)
(株) NTT データグループ	(株) 島津製作所	日本新薬 (株)
(株) NTT データ	スズキ (株)	日本電気 (株) (NEC)
(株) NTT DATA, Inc	積水ハウス (株)	日本生命保険相互会社
外務省専門職員	ANA (全日本空輸 (株))	野村證券 (株)
川崎重工業 (株)	(株) タカラトミー	パナソニックホールディングス (株)
(株) キーエンス	東映アニメーション (株)	(株) みずほフィナンシャルグループ
一般社団法人共同通信社	東京海上日動火災保険 (株)	(株) 三井住友銀行
(株) 京都銀行	東京電力ホールディングス (株)	(株) 村田製作所
(株) クボタ	東レ (株)	雪印メグミルク (株)
国税専門官	西日本高速道路 (株)	国家公務員総合職 (防衛省・国税庁)
裁判所職員一般職	NTT 西日本 (西日本電信電話 (株))	地方公務員 (上級職)
(株) 滋賀銀行	西日本旅客鉄道 (株)	

(50音順)

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎進学率=|進学者/(就職者+進学者)|。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。



産業社会学部

■ 現代社会学科

現代社会専攻
メディア社会専攻
スポーツ社会専攻
子ども社会専攻
人間福祉専攻



取得学位	学士(社会学)
アドミッション・ポリシー	<p>産業社会学部のカリキュラムで学ぶために必要な、以下の能力や資質を有する者を受け入れます。</p> <p>〈関心・意欲・態度〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な教養と知的好奇心を有している者 2 現代の様々な社会問題の理解とその解決に強い関心を持つ者 3 他者とのやりとりを通して主体的に学びを深める姿勢を有する者 4 将来、総合的で多面的な視野を持ち国内外での活躍を希望する者 <p>〈知識・理解〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 高等学校教育課程における基礎的な学力、思考能力、判断能力を有し、それらを応用することができる者

新たな価値を共創し、複雑多様化する現代社会の諸問題を解決する

産業社会学部の創設は1965年、社会学系では国内有数の歴史と規模を誇る学部です。現代社会は、環境問題、貧困や格差、少子高齢化、雇用問題、都市集中と農村の過疎化、メディア環境とSNS・AI活用の変容、グローバル化と文化変容、エスニシティやジェンダー差別、マイノリティの生きにくさ、競技人口の減少と地域スポーツの衰退、学校の硬直性、国際紛争などさまざまな問題を抱えています。産業社会学部は、社会学を中心に、経済学、政治学、産業学、政策、環境論、まちづくり、メディア、スポーツ、経営学、福祉学、教育学、心理学などさまざまな社会科学と関連させながら、幅広い学際性と高い専門性をもってこうした社会問題を解決していくことができる資質・能力の育成を目標にしています。その結果、新たな価値を共創し、多様な人々が共生するウェルビーイングの高い社会づくりに貢献することをめざします。

産業社会学部では、「現代社会専攻」「メディア社会専攻」「スポーツ社会専攻」「子ども社会専攻」「人間福祉専攻」という5つの専攻をおき、それぞれに独自のカリキュラムを展開しています。学生の多様な問題関心に応じて、専攻の壁を越えて領域横断的に幅広く学ぶことも可能です(クロスオーバー・ラーニング)。

また、産業社会学部は、社会の創り手の育成に向け、学生が主体的に学ぶことを重視しています。そのため入学当初からアクティブ・ラーニングを推進しています。主体的で能動的な学びを授業内外のさまざまな場面において学生が実践できるよう支援します。

産業社会学部の学生は、フィールドワークを通じて地域社会の人々や組織とつながり、日々経験を重ねます。さらに地域はもとより日本、世界へと視野を広げる中で、現代社会が抱える諸問題の本質を捉え、自らの研究テーマを見出し、卒業研究でより広く深く掘り下げていきます。見えないものを見つめ、他者とともに自ら考え、他者と共同しながら自ら行動し、新たな知を生み出す社会的思考力を身に付けることができる、それが産業社会学部の魅力です。

STUDENT'S VOICE

「推し活」の視点から地域活性化の可能性について考え、社会課題の解決につなげたい。

少子高齢化やジェンダー問題といった社会問題の要因や解決策を考えたいと思い、立命館大学の産業社会学部を志望しました。中でも、社会の諸課題に関連する分野を幅広く学べるところに強く惹かれました。

経済や政治、文化、心理、労働、環境など社会科学の多様な視点を学べるように充実した科目が配置されています。授業では、それらを領域横断的に捉え、社会問題や現代社会全体を広く、かつ深く学べる展開がなされています。特に興味深かったのが、「社会階層論」の授業です。文化や教育、経済、ジェンダーがどのような関連性によって社会階層の決定事由になるのか、どのような相関が見られるかを考えました。ジェンダー問題を扱う授業では、フェミニズムをはじめとする従来の男性主義的な視点から脱却しながらジェンダー問題を捉える女性学だけでなく、男性ゆえに抱えるさまざまな問題を考える男性学的な視点も含めて議論が展開されたことが印象的でした。LGBTQなど生物性にとらわれない人間の在り方が広く普及する中、男女という性別の概念に焦点を当てて社会や文化との関わりを探る視点は新鮮でした。このような学びを深めるうち、私たち一人ひとりの心がけの積み重ねが課題解決の第一歩になると感じています。

ゼミナールでは近年、社会現象として大きな盛り上がりを見せる「推し活」の視点から、地域活性化の可能性について探っています。急速に進行する少子高齢化をはじめとして、日本各地の一部の自治体の衰退が深刻化しつつあり、私自身も生まれ育った故郷の人口減少から地域活性化の必要性を実感しています。「推し活」という社会現象の好循環を地域と関連づけることが、こういった地域の課題に新たな風を吹かせられるのではないかと考えています。大学で学んだ内容を社会に活かせるよう、複数の視点から多角的に物事を捉えることを意識的に心がけ続けたいです。



武内 詩奈 さん

産業社会学部 現代社会学科
現代社会専攻 4回生
岡山県立岡山朝日高校出身

専攻・特色

高い専門性と多角的な視野を養う5専攻

異なる視点から見つめ考えることで、現代社会の複雑で多様な問題の実態が見えてくる。

アクティブ・ラーニング ～社会に触れて学ぶ～

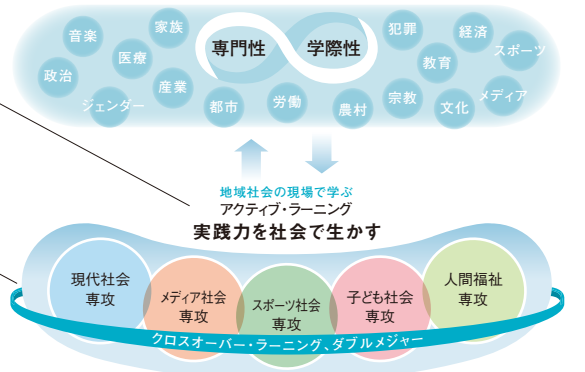
フィールドワークやボランティアなど、実際の社会に触れて、学生自らが主体的・能動的に学ぶアクティブ・ラーニングを重視しています。日本および海外の社会問題の現場で人と接しながら、調査・研究を進めます。

クロスオーバー・ラーニング ～専攻の壁を越えて学ぶ～

学部基礎専門科目や他専攻の専門展開科目などの履修を通して、専攻の壁を越えた多彩なテーマを学ぶことが可能です。例えば、「教育」と「福祉」、「スポーツ」と「ジャーナリズム」など複数のテーマを学ぶことで、複雑な課題を多面的に捉えることができます。

【ダブルメジャー制度】

クロスオーバー・ラーニングを実現するための一つの仕組みです。所属する専攻以外からサブメジャー専攻の一つを選び、通常は履修できないサブメジャー専攻のゼミナールや専門導入科目を履修することが可能となり、社会問題へのより深く多面的なアプローチを可能にします。



※他専攻の専門科目の単位認定における科目区分(分野)は、専門科目ではなく「発展科目」です。
※卒業するためには、教養科目・外国語科目の他に、自専攻の専門科目を少なくとも20科目程度単位取得しなければなりません。

スポーツ社会専攻

心豊かで健康な人間社会のために、スポーツや余暇のあり方を考察する。



ゼミナールにおける「新しいスポーツ」の創作活動の様子

余暇の過ごし方や健康管理に対する関心が高まる中、豊かな人間生活の実現のためにスポーツに注目し、活用しようという動きが顕著になっています。スポーツは私たちの生活や社会と密接に結びつき、産業の一分野として飛躍的に成長しています。スポーツ社会専攻では、社会や生活におけるスポーツの役割や、余暇、健康との関わりについて多角的にアプローチしていきます。公的機関や民間企業、ボランティアの立場から文化としてのスポーツや余暇に対する知見を深め、豊かな社会を実現する方法を模索します。基盤となるスポーツ理論の学修に加え、現地調査などを取り入れた実践的な授業を展開しています。海外研修なども活用しながら、社会でスポーツをマネジメントしていく力や余暇の新たな可能性を見出す力を養います。

子ども社会専攻

子どもたちと関わりながら、これからの学校教育について考える。



子ども・教育について実践的に学ぶ小学校の教育実習

子ども社会専攻は、子ども・若者について多面的・総合的に学べる専攻です。小学校教員養成課程を設置しているため、「小学校教諭一種免許状」を取得することができます。加えて、「中学校教諭一種免許状」「高等学校教諭一種免許状」「特別支援学校教諭免許状」も取得可能です。本専攻では、産業社会学部の特徴を生かし、社会学・心理学・スポーツ学といった領域から子ども・若者や社会課題を多面的に理解・分析したり、メディア・福祉・グローバルな視点から子どもを取り巻く社会環境について学際的に学んだりすることができます。また実際に小学校や子ども食堂などの現場に向かい、実践的に学ぶ機会を設けています。「少人数での学び」「免許取得に向けたサポートルールの設置と手厚い支援」「経験・知識の豊かな教員による質の高い授業」によって、子ども・若者に関する高い専門性を身に付けた「子ども・若者のスペシャリスト」の育成を目指します。

人間福祉専攻

誰もが尊厳ある地域生活を送り、全ての人の「当たり前の暮らし」を支援する。



社会福祉士課程における現場実習の報告会

障がいの有無や、置かれた環境にかかわらず、また子どもでも高齢者でも、誰もが尊厳を保ち地域での暮らしを営めるようにする社会づくりに貢献します。社会福祉というテーマに対し、福祉の「制度・システム系」と人に関する「ソーシャルワーク・対人心理系」という2つの領域からアプローチします。政治や社会、経済といったマクロな視点と、生活や発達、悩みや困難といった人間そのものを捉える2つの視点を正しく理解した上で、社会保障・社会福祉の制度に関する理解から、社会的困難のある個人や家族への個別支援の知識、技術まで幅広く学びます。また、高度な専門資格である社会福祉士資格の取得に向けたサポートも行っています。福祉マインドを持って社会のさまざまな場面で活躍できるような学びを深めていきます。

現代社会専攻

現代社会の課題に3つの視点から迫り、真に豊かな未来を探究する。



地域の人々と信頼を築き、問題発見とその吟味、解決策を探究

自然環境と経済活動の調和を目指す「持続可能な社会」の創造や公共空間の再生、社会倫理や国際ネットワークの構築といったさまざまな課題に、「社会形成・社会文化・環境社会」の3つの領域からアプローチし、真に豊かな社会を実現するための方法を探究します。「社会形成」領域では、政治・経済・労働など社会の骨格についての論理を学び、さまざまな場面で社会変革を推進、管理できる力を養います。「社会文化」領域では、人間・文化・社会についての論理的思考を柱として、新しい生活規範を創出していきます。また、「環境社会」領域では、持続的社会的形成を目指し、自然環境の保全のみならず、住みよい社会環境の創出に主体的に関わるための力を培います。いずれの領域でも、文献学修だけでなく、フィールドワークにも積極的に取り組みます。

メディア社会専攻

メディアの機能・役割について学び、社会とのより良い関係を創出する。



教室での学びと連動したメディア制作実践

メディア社会専攻では、社会とメディアとの「より良い関係づくり」を目指します。新聞や放送などの社会的機能やインターネットに至る発展と歴史、またマンガや広告といった文化など、メディアと社会の関わりについて学び、各種メディアが果たすべき役割や責任について考察します。さらに情報を的確に読み解く力や発信するためのスキルも養います。現代社会におけるメディアの機能を検証する「メディア社会」、メディアと人との関わりに注目する「市民メディア」、映画、マンガといった文化としてのメディアを学ぶ「メディア文化」という3つの領域を設定しています。自分の関心や進路の希望に合わせて、一つあるいは複数の領域から多角的に学ぶことが可能です。

4年間の学び

学問領域を超えて、アクティブに学ぶ

高い専門性を養うため、各専攻独自のカリキュラムのもと、系統的に履修を進めていくことができます。一方で専攻間の壁を低くし、他専攻の科目を学べる柔軟なシステムも用意しています。高い専門性と多角的な視野を養い、4年間の学びの成果として卒業論文を執筆します。



- 上記は2025年度のカリキュラムです。2026年度は科目の改廃や科目名称等が変更になる場合があります。
- 専攻専門科目の履修は、「専門導入科目」→「専門展開科目」を基本としつつ、学修テーマや時間割の条件に合わせて各自で設計することができます。
- 学部専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。➡[教養科目](#) [P.130](#)

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

外国語の選択	【必修】英語　【選択必修】ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／朝鮮語　から1言語 英語と選択必修の内の1つの言語を合わせた2つの言語が必須。国際社会で通用する高度な外国語運用能力を身に付けることを目標とします。
産業社会学部の英語副専攻	学部の専門性と英語運用能力を同時に高める産業社会学部独自の副専攻を設置しています。➡ P.028

■ゼミナール・卒業研究

産業社会学部では、ゼミナールに所属し、その成果物である「卒業論文（もしくはそれに準ずる成果物）」を提出することが卒業の必要条件です（必修科目）。ゼミナールでは、専門的な学びを深めることを通じて得られた多様な知識や技法を深化させることに加え、自ら主体的・能動的に取り組むことを通じて、それらを総合させることを目指します。ゼミナールでの学修成果は、4年間の学びの集大成となる「卒業論文」としてまとめあげます。ゼミナールは産業社会学部での学びを「紡ぎ上げ」「完成させる」場です。

教員紹介

[2025年度　教員・研究テーマ一覧]

現代社会専攻	
江口 友朗	タイなど東南アジア諸国の人々での間での金銭的な違い（例えば、貧困や所得格差など）に関する調査と、世界中の人々が物質的に豊かかつ幸せに暮らしていくために必要な持続可能な社会経済システムの検討：各国の制度や政策をてがかりにして
大野 威	日米英ニュージーランドを中心とした働き方の変遷の国際比較、女性役員登用、育児と仕事の両立
加藤 潤三	社会心理学から地域コミュニティにおける人間の行動と心理の探求（地域環境問題、地方への移住、沖縄に関する研究など）
加藤 雅俊	公共政策が国々によって異なる理由・背景に関して政治的な要因に注目して分析する（特に、日本とオーストラリアに注目して）、紛争処理と合意形成のあり方を多角的に検討する、政治学という学問が可能になるための条件を検討する
金澤 悠介	大規模アンケート調査で人々の政治についての新たな価値観を探る、大規模アンケート調査で社会的孤立の実態と原因を探る
斎藤 真緒	ヤングケアラー・若者ケアラーおよび男性ケアラーを中心とする家族ケアに関する理論的実証的研究と当事者参加に基づく社会資源の開発、今日の若者の恋愛の動向の把握とデートDV予防プログラムの開発
崎山 治男	感情の社会学、サービス産業下でのストレスに関する感情労働論、コミュニケーション能力が求められる社会の心理主義という視点からの分析
櫻井 純理	市町村と企業・NPO等が提供している就業困難者への支援政策、日本とデンマークの比較研究
杉本 通百利	EU・ドイツの環境政策の歴史、リサイクルや循環経済の研究、大量生産・大量消費社会の国際比較
住家 正芳	宗教学、宗教社会学、宗教や宗教的なものをめぐるさまざまな思想の研究
孫 片田 晶	在日コリアンの歴史や思い、多文化共生社会、人権主義の問題
武岡 暢	食品卸売市場、フードシステム、歌舞伎町の都市社会学、商店街、職業のネットワーク：ホストクラブ、キャバクラ、性風俗、客引き、スカウト等
竹演 朝美	再生可能エネルギー電源（風力、太陽光、バイオマスなど）の拡大政策、脱原発のエネルギー政策、再エネ100%を目指す企業・自治体の事例分析、電気自動車EV拡大に関する国際比較
富永 京子	・政治に対して意見を言うことや批判をすることはなぜ日本社会では嫌がられてしまうのか・「旅行」と「DIY（Do-It-Yourself）」を社会運動として研究する
中井 美樹	生活や仕事での男女間不平等の研究、ジェンダー格差・性別役割分業、等の研究
中西 典子	地域社会と公共性（公共空間）、地域政策（地方分権、地域振興）に関する比較社会研究、京都学研究
永島 昂	日本経済・産業の歴史、モノづくりにおける中小企業の研究
永野 聡	観光と健康を融合したまちづくり、身近なところからの環境対策（SDGs）、アート活動で地域おこし？、震災復興と国際交流の実践、UberやAirbnbが身近な社会を創るには？、高齢者に優しい社会をみんなで創るにはどうすれば良いか（海外にもトビ出そう）？
永橋 爲介	参加型まちづくりの実践、ファシリテーション・スキル（対話と熟議を円滑に進める技法）の獲得と展開、合意形成の作法と技術
樋口 耕一	ネットやマスメディアを飛びかう言葉から「社会の心」を探る研究、テキストマイニングの方法とツールの開発
平井 秀幸	刑務所のフィールドワーク、薬物依存症とその支援、セルフヘルプ・グループと当事者活動、社会批判と社会調査
増淵 あさ子	米軍が人々の生活や生存にどのような影響を与えてきたのか。沖縄占領研究、軍事主義とジェンダー/レイシズム、医療史、冷戦研究
水沢 光	科学技術政策史、航空技術の歴史、科学コミュニケーション
三宮 利幸	マックス・ヴェーバーの思想、近現代の沖縄をめぐる思想
柳原 恵	ジェンダー研究。女性史。インタビュートミニコミ（自主制作雑誌）から見る女性運動
吉田 誠	戦後日本の企業と労働組合の歴史
メディア社会専攻	
飯田 豊	メディア論、メディア技術史、文化社会学。特にテレビ、ビデオ、万博などに関する研究
瓜生 吉則	マンガの読者論・メディア論、メディア文化としての読者の歴史社会学、戦後日本社会におけるテレビの文化研究
川口 晋一	メディアの発達と観覧スポーツ文化の変容：米国レクリエーションの歴史と政治
近藤 和都	メディア論、メディア史、映像文化論（映画・テレビ・ビデオ・動画配信をめぐる受け手研究）
住田 翔子	戦後日本の废墟イメージの研究、アートと都市空間・都市イメージ、視覚文化論、感性文化論
高橋 顕也	コミュニケーション・メディア、メディア文化、ソーシャル・メディア、社会理論
谷原 吏	SNSとコミュニケーション、AIのガバナンス、世論と政治、定量的分析
趙 相宇	東アジアのメディア文化とその公共圏、植民地支配に関連する記憶と報道
筒井 淳也	社会的ネットワーク（家族・友人関係）、仕事と家庭の両立、国による生活や価値観の違い
浪田 陽子	メディア・リテラシー（メディアの特性を理解し、読み解き、発信する力）の獲得と学校におけるその教育実践、日本と北米の映画・テレビ番組・広告に描かれるジェンダーやエスニシティの比較分析、カナダのメディア研究
根津 朝彦	戦後日本のジャーナリズムの歴史、新聞記者・報道・ニュース研究、テレビのドキュメンタリーが迫る社会問題
日高 勝之	①「物語（narrative）」としてのメディア・映画研究 ②記憶、ノスタルジアのメディア・映画研究 ③コロナ禍・東日本大震災などの大災害・カタストロフィ後のメディア・映画研究
藤嶋 陽子	日本のファッション産業の歴史、ファッションメディア、SNSやECサイト（商品を売買できるウェブサイト）の登場が消費に与えた影響、ファッションとテクノロジー
スポーツ社会専攻	
市井 吉興	新しいスポーツ＝ニューススポーツを創ってみよう！そして、スポーツの魅力を探求してみよう！！でも、「新しいスポーツ」ってなんだ??
漆原 良	スポーツのパフォーマンスを含む人の運動・行動能力の潜在的可能性を引き出す方法を学際的視点から考える
岡田 桂	スポーツとジェンダー（性役割）をめぐる歴史と現状、スポーツとセクシュアリティ（LGBTQ+）の関係性、文化としてのスポーツが社会で果たす役割
金山 千広	①障害者スポーツの普及・振興に関する研究 ②学校体育・生涯スポーツにおける「場」のインクルージョン ③対象者の状況に応じて、スポーツを工夫・展開するためのマネジメント（アダプテッドスポーツのマネジメント）
金子 史弥	①スポーツ社会学、スポーツ政策論 ②戦後のイギリスにおけるスポーツ政策（スポーツとナショナリズム／社会的包摂）に関する研究 ③オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツイベントに関する社会学的研究（特にその「レガシー」（遺産）に関する研究）

詳しくはこちら ▶



権 学俊	近現代日本の天皇制（皇室）とスポーツの歴史 スポーツとナショナリズムに関する研究 スポーツと人種差別、排外主義に関する研究
中西 純司	①価値共創とスポーツサービソロジー（スポーツサービス学） ②地域スポーツと市民（志民）社会の形成 ③スポーツという「不利益」文化論の研究 ④スポーツ経営学の理論開発
松島 剛史	①スポーツがなぜ世界に広まったのかを探る ②ラグビーの魅力や発展がいかに社会（政治、経済、科学技術など）に支えられているかを探求する ③レジャー・スポーツを使って理想的なコミュニティや社会をデザインする
数 耕太郎	①武道と他の身体運動文化（スポーツ・体育・格闘技・フィットネスなど）との歴史的、社会的関係性 ②周縁的な身体運動文化（バレエ・ダンスなどの身体表現や民俗スポーツなど）の歴史と文化、現代的意義
子ども社会専攻	
石田 智巳	体育と認識、ナラティブ・アプローチ、体育実践記録論
大谷 哲弘	高校生の学校生活への適応やキャリア発達、児童生徒の大規模自然災害後のトラウマ反応
岡本 尚子	算数科の子どものつまずき、脈拍や視線などを用いた思考の分析
御旅屋 達	ひきこもり経験をするなど、生活や就労において難しさを抱えた若者を支える仕組みについての研究 現代社会における「居場所」についての研究
角田 将士	社会科（地理歴史科・公民科）カリキュラム編成論、社会科（地理歴史科・公民科）授業構成論
景井 充	①フランス社会学を誕生させた問題意識と理論構成の解明 ②日本の近代社会の特質を炭鉱の歴史に探る研究 ③条件不利地域の社会経済的サステナビリティを実現するソーシャルデザインの探求
柏木 智子	子どもの貧困、外国ルーツの子どもの、子ども食堂、学習支援活動、探究学習、ケアする学校・授業づくり、学校とICT活用、学校との連携によるコミュニティづくり
中西 仁	①史料批判、質的な調査の手法を用いた社会科授業実践の分析 ②歴史民俗学的アプローチによる都市祭礼および京都の祭礼の研究
野原 博人	理科教授・学習論、理科評価論、学習環境のデザイン
春木 憂	国語科授業づくり、「子どもの論理」を生かした教育実践理論、幼小接続期教育およびカリキュラム開発
松岡 宏明	造形・図画工作科・美術科教育における目標と評価、美術鑑賞教育、子どもと造形
松本 麻友子	アプリケーションを活用したメンタルヘルス促進のための心理教育プログラムの開発と効果検証
人間福祉専攻	
秋葉 武	NPO・NGOの経営学（NPOがより社会的成果を挙げるためのガバナンス・クラウドファンディング・広報・人材開発・コンサルティングなど）
石田 賀奈子	児童福祉・特に虐待を受けた子どもの回復に向けた支援に関する研究、児童養護施設や里親による子どもの養育、子どもの権利擁護（アドボカシー）
呉 世雄	高齢者の地域生活を支える仕組みと実践、社会福祉施設の運営管理、ビジネス手法を用いた社会問題の解決、新たな福祉サービスの開発
岡田 まり	病氣・障害・介護・貧困・差別などに直面している人の生活支援や環境改善、福祉専門職の養成や研修
川崎 聡大	発達障害や知的障害・言語障害の背景や支援法を心理学・脳科学の観点から検証するディスレクシア（発達性読み書き障害）の支援法やインクルーシブ教育実践を可能とする評価法の研究
黒田 学	障害のある子どもと家族の地域生活支援、特別ニーズ教育および障害児福祉に関する国際比較研究（ベトナムなどの東南アジア、ポーランドなどのEU諸国）
桜井 啓太	現代日本の貧困問題。社会福祉、特に生活保護制度に関する研究
鎮目 真人	社会保障、労働、家族などに関する社会問題と日本の福祉国家に関する研究、高齢期の貧困問題と年金制度の研究
篠原 郁子	発達心理学。主に、乳幼児期の社会情緒的発達、親子関係、幼児教育・保育と子どもの発達の関連に関する研究
田村 和宏	障害のある子ども・人たちの発達と生活・教育・労働の支援について。障害のある人の権利の侵害と保障について。家族やきょうだい支援について
丹波 史紀	貧困や災害などのリスクにさらされた個人や家族が、尊厳を保ち地域での暮らしを実現する社会政策の研究
中根 成寿	障害政策に関する調査研究 福祉事業所等のデータ分析・DX推進に関する調査研究
長谷川 千春	日本やアメリカを中心とした、医療保険や医療サービスの提供に関する医療保障システムについての研究、また医療保障システムが抱える問題についての研究
前田 信彦	教育と職業キャリアに関する社会学的研究、学校から職業への移行とキャリア教育（大学生の就職活動など）、ワークライフ・バランス研究
松田 亮三	医療と福祉の仕組みと政府の役割、いろいろな国の福祉の仕組みの比較、誰もが必要な医療・福祉を利用できるように何をすればよいか
三木 裕和 村田 観弥	障害児教育における教育目標・教育評価論 インクルーシブな社会に向けた教育のあり方についての研究
山田 宗寛	社会福祉の実践・思想・歴史、ソーシャルワーカーの専門性についての研究。子どもの福祉。障害のある人の福祉や芸術活動
言語・国際教育	
Ian Hosack	日本の中等教育におけるシティズンシップ教育（市民教育）と英語教育との関連性とその取り組み。現代社会に市民として参加するため必要な意識、スキル、価値観など、英語教育を通してどのように育成されるかについての研究
上原 徳子	中国古典小説とそのパロディ・スピニオフ・映像化作品と読者の受けとめ方についての研究
下條 正純	日本語における表現とその効果、物語（少女小説やライトノベル）に見られる発話表現と人物描写の関わりなど
武田 淳	留学や就職などで国境をこえて移動する人々についての研究
仲井 邦佳	スペイン語文法構造の研究、ロマンス語（イタリア語、フランス語、等）との比較研究、スペイン語と日本語の対照研究
盧 載玉	韓国・朝鮮語教育（言語の機能「読む」「書く」「話す」「聞く」）を楽しく学べる教材開発、文化的背景に基づいて機能する言語力を身に付けるための教材開発
松島 綾 宮尾 万理	ポピュラー・カルチャー研究、視覚（見え方）と認識主体の関係性、視覚コミュニケーション研究 第二言語学習者による文の理解と産出、思考力の育成
山崎 遼	現代民俗学、スコットランド文学、伝承歌・物語などの口頭伝承研究、ヴァナキュラー文化研究、スコティッシュ・トラベラー研究

学び・プログラム

社会の諸課題に関連する分野を幅広く学ぶ。

■ソーシャルデザインプログラム

「社会問題の発見と解決」に関する理論と実践を体系的に学ぶプログラム。現代社会における社会問題の特性とその多様な解決方法を多角的に学び、フィールドワークを通じて社会問題の現実を学びます。プログラム修了者は、社会問題を主体的に発見・解決し、新たな地平を切り拓く人材として、社会のさまざまな分野で活躍することが期待されます。

■社会と連携した専門特殊講義（プロフェSSIONALに学ぶ）

学外諸機関からゲストを迎えた専門科目。社会の第一線で活躍しているプロフェSSIONALの講義はとてもパワフル。学生たちの好奇心・探求心を刺激します。

〔開講例（一部）〕

- 読売マスコミ講座
～メディアの公共性から21世紀の新聞とテレビの課題を考える～
- 朝日新聞・朝日放送リレー講座～メディアの現場から～
- 京都市連携講座 京都を深める～市政を知る、学ぶ、考える、創造する～
- 読売スポーツ社会学講座～スポーツ報道とそれを取り巻く環境～

英語で社会学を学び、専門の学びと語学力を同時に高める。

■グローバルスタディプログラム

国内外で起きている社会諸問題について国際的な視点から学ぶことを目指す国際教育履修モデル。多文化共生・異文化理解のための知識と実践力を修得する講義科目とフィールドワーク科目、そして外国語でのコミュニケーション力を涵養する語学科目といった多様な科目を配置しています。また、ゼミナールでの報告や卒業論文において、外国語の文献を用いて研究テーマを深められるようになることを目指します。

〔異文化理解フィールドワーク〕

- アメリカ西海岸でレジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ
- 韓国社会の政治・経済・文化を学ぶ
- 台湾の文化と社会
- ポーランドの障害・福祉・教育・平和を探るフィールドワーク
- ベトナムの障害・福祉・環境・平和を探るフィールドワーク研究



※開講するプログラム・渡航先は年度によって異なります。

高度な専門性を有する資格や、さまざまな教員免許の取得が可能。

■資格課程のサポート

産業社会学部では以下の資格や免許を取得することが可能です。また、社会福祉士国家試験受験資格、小学校教諭免許の取得を目指す学生には、専門スタッフと専用の資格支援室を設け、取得をサポートしています。

※所属する専攻や時間割の都合により、複数の資格課程を並行して履修することができない場合があります。

資格

●社会調査士（定員60名）

※定員を超えて申し込みがあった場合は選考を行います。

●社会福祉士国家試験受験資格（人間福祉専攻のみ、定員40名）

※社会福祉士資格課程の履修希望者には選考を行います。

※社会福祉士資格課程の履修には別途社会福祉士課程履修料（※2024年度実績 9万8千円）の納入が必要となります。

■地域連携プロジェクト（社会の現場で学ぶ）

「問題の本質的な理解を持って、解決に向けた思考力と実践力を養うこと」「多様な他者とのやりとりの中から自分自身を批判的に検証・理解し、総合的な人間力を養うこと」を目指し、地域連携プロジェクトを積極的に展開しています。

〔活動例（一部）〕

- コミュニティ・エナジー
“小電力発電再稼働を契機とした地域おこしの探求”
- 第三の居場所探究—シェルター／カフェ／中・高居場所づくりに着目して—
～尼崎市・大阪市～



■英語副専攻

高度な英語運用能力を身につけながら、社会学関連の専門知識を幅広く英語で学び、発信する力を鍛えるプログラムです。大学院進学や英語圏への留学を希望する学生のニーズに応え、英語でのライティング、リーディング、プレゼンテーションに重点を置いた授業も行います。授業は全て英語で行われ、プログラム修了時には全員がTOEIC®L&Rテスト600点以上、そのうち上位3分の1の学生は730点以上の力をつけることを目指します。

※TOEIC®はEducational Testing Service (ETS) の登録商標です。

■海外短期研修プログラム

海外の提携大学と学部が協働で海外短期研修プログラムを開発しています。産業社会学部のカリキュラムの中で培った外国語の総合的運用能力を基礎に、海外というフィールドで各分野の専門学修を深めます。

- Study Abroad Program（オーストラリア・サザンクイーンズランド大学）

卒業生からのメッセージ

人の役に立つ仕事がしたい。

公務員として土木の分野から暮らしを支える。

子どもの頃から人の役に立つ仕事に就きたいと考えており、大学で福祉を学んだことから、公務員を志望する気持ちが強くなりました。現在は、道路法に基づく許認可業務や道路に関する届出・相談の対応をはじめ、府民からの要望に基づいた現場確認と修繕依頼が主な業務です。大学時代は社会福祉士課程を履修し、ゼミナールでは児童福祉について研究しました。特に事例学習では、解決策を考え議論することで問題解決力が身についたと感じています。1か月間、児童養護施設に泊まり込みで実習を行ったことも貴重な経験です。また、4名共著で卒業論文を執筆し、チームで目標を達成するスキルを養いました。大学で培った協調性や問題解決力は現在の業務にも役立っています。今後も人との関わり方を学び続け、仲間から頼りにしてもらえる存在になりたいと考えています。

2018年、産業社会学部に入学。2022年に卒業し、大阪府に入庁。豊能地域を管轄とする都市整備部 池田土木事務所管理課に配属され、主に国道や府道といった道路の管理など土木行政の一端を担っている。このほか、台風や大雪時の緊急対応や管理施設の市移管をはじめ、業務は多岐にわたる。



三輪 夏岳 さん

大阪府 都市整備部 池田土木事務所 管理課
（産業社会学部 現代社会学科 人間福祉専攻 2022年卒業）

メディアを通じ、災害から人を守る。

視聴者に信頼されるアナウンサーへ。

阪神淡路大震災の5日前に大阪で生まれた私は、病院で看護師の方に守られながら揺れを乗り越えました。「助けられた命。私も誰かを守れる人に…」。そう思ったのが、災害時に人命救助の一端を担うアナウンサーを目指したきっかけでした。今は北海道で情報番組のリポーターを務める一方、テレビ・ラジオで防災特集をつくったり、小学校での出前授業を企画・運営したりするなど、啓発に力を入れています。大学時代は「東日本大震災の津波避難の呼びかけは正しかったのか」をテーマに研究しました。放送内容の分析や、被災地でのインタビューなどから有効な呼びかけ方を模索しました。この経験が今の仕事に大いに活かされています。いざという時に北海道の方々の命を守れるように、まずは「この人の言葉なら受け入れよう」と視聴者の皆さんに心から信頼されるアナウンサーを目指しています。

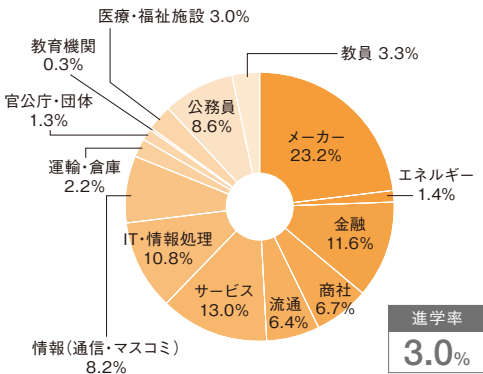
2013年、産業社会学部入学。2017年、札幌テレビ放送株式会社に入社。2018年4月より朝番組「どさんこワイド朝」スポーツキャスターとして、北海道日本ハムファイターズなどの情報を届ける。2019年4月から現在に至るまで、タ方の情報番組「どさんこワイド179」フィールドキャスターとして、グルメから事件・事故の中継まで幅広く担当している。

進路・就職状況

培った実践力が社会で生きる。

社会学の学びや多彩な個性との触れ合いで得た幅広い視野と課題発見・解決能力を生かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

〔2023年度卒業生 業種別進路決定状況〕



〔2023年度卒業生 進路・就職先一例〕

（50音順）		
味の素（株）	静岡放送（株）	富士通（株）
出光興産（株）	積水ハウス（株）	ブリマハム（株）
因幡電機産業（株）	（株）セブン・イレブン・ジャパン	（株）堀場製作所
AGC（株）	ソフトバンク（株）	本田技研工業（株）
（株）ADKホールディングス	中国電力（株）	（株）みずほフィナンシャルグループ
NHK（日本放送協会）	（株）電通	森永乳業（株）
（株）NTTドコモ	東映アニメーション（株）	（株）読売新聞東京本社
カシオ計算機（株）	東海旅客鉄道（株）	（株）ワコール
（株）カプコン	東京海上日動火災保険（株）	国家公務員一般職（財務省、厚生労働省等）
（株）キーエンス	東京電力ホールディングス（株）	国税専門官
京セラ（株）	（株）ニトリ	地方公務員（上級職）
一般社団法人共同通信社	日本生命保険相互会社	教員
（株）京都銀行	（株）日立製作所	

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎進学率＝|進学者／（就職者＋進学者）|。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。



国際関係学部



国際関係学科

国際関係学専攻

グローバル・スタディーズ専攻 英語・4月 英語・9月

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科 英語・4月

取得学位	国際関係学科…学士（国際関係学） アメリカン大学・立命館大学国際連携学科…学士（グローバル国際関係学）
アドミッション・ポリシー	<p>〈国際関係学科〉</p> <p>国際関係学科では、国際社会の理解に不可欠な「言語×理論×地域」を段階的に学んでいきます。その中で、高い外国語運用能力と論理的思考力を養い、多文化を理解する豊かな知性を育んでいきます。こうした学科での学びの中で、自らの意思で主体的に行動し、行政・経済・文化・平和といった観点から社会に貢献する意欲を持つ学生を求めます。</p> <p>このため、入学時点で、以下の学力と意欲を有している学生を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none">1 国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力2 国際社会の諸問題に関する高い関心、およびそれを自発的に探求する意欲3 国際社会の諸問題を理解し、表現することができる語学力 <p>〈アメリカン大学・立命館大学国際連携学科〉</p> <p>アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、キャンパスの内外で効果的なリーダーシップを発揮できるグローバルなマインドと国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力を有する学生を求めます。卒業後、友好的で相互に有益な東アジアおよび日本と米国の関係発展ならびに国際社会の平和と繁栄に貢献する意欲を持った学生を受け入れます。</p>

英語・4月 授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得でき、4月入学ができる学科・専攻・コース 英語・9月 授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得でき、9月入学ができる学科・専攻・コース

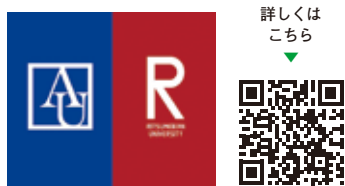
多文化が融合する環境で成長し、 グローバルな視野で国際社会の諸問題に挑む

国際関係学部は、1988年に設立されて以来、国際協力、外交、グローバルビジネス、地域コミュニティなど国内外で活躍する9,000名以上の卒業生を輩出してきた西日本で最も伝統ある国際系学部です。この間、冷戦の終結、世界的な経済危機、IT革命や環境などに関する諸問題、テロリズムに代表される新しい脅威の台頭、COVID-19をはじめとした新たな感染症への対応など、国際社会はめまぐるしい変化に直面し、国際関係学部もそれらの変化に対応すべく、さまざまな進化を遂げてきました。国際関係学部では、国際社会で起こる戦争や貧困問題、民族間対立などを、政治や経済の分野に留まらず、社会学、文化人類学、歴史学などの観点から多角的に捉えようとする学びを推進しています。この複眼的な視点は国際関係学部特有の学術的アプローチです。国際社会で起こる出来事はさまざまな要因が複雑に絡み合っており、このような社会に貢献するためには、物事の表面だけではなく背後に潜む社会のひずみや、一見無関係に思われる別の物事との関連性を浮き彫りにするなど、物事をより客観的かつ本質的に深く理解する力が必要となります。

学問分野を越えて物事を考察し、文化・宗教、既存の価値観（常識）を超えて、自分の価値観を再構築する。国際関係学部での学びは、さまざまな局面を自分の力で打開し国内外で活躍したいと望む人がさらに成長するための、重要な一歩につながります。

JDP 学部では日本初のプログラム！ 「ジョイント・ディグリー・プログラム（Joint Degree Program）」

2018年4月にアメリカン大学と立命館大学が共同で開設した「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科」では、西欧中心に築かれた学問体系である「国際関係学」を、日本を含む非西洋の視点を取り入れた「グローバル国際関係学」へと発展させ、学部レベルでは日本初となるジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）を始動しました。京都とワシントンD.C.でそれぞれ2年ずつ学び、両大学連名の単一の共同学位（BA in Global IR）を取得します。



STUDENT'S VOICE

国際社会の諸問題について自分なりの意見や見解を持てるようになった。

国際的な事象をあらゆる側面から総合的に学べる点や、憧れの京都に住めるという点に惹かれて国際関係学部を志望しました。言語や国際情勢に関心を持つ学生が多く、授業内では学生同士で積極的に議論が行われるなど、日々刺激的な環境で学ぶことができます。

国際関係学専攻では、2回生から専門性を深めていきます。私は、「開発経済学」「国際協力論」「国際政治学」「国際法」などの授業で体系的な知識を身につけつつ、地域研究科目を通して世界の諸地域について理解を深めています。特に印象に残った授業は「グローバル・シミュレーション・ゲーミング」です。学生が各国政府や団体など国際社会の主体（アクター）に扮し、実際の外交をシミュレーションします。私はICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）を担当し、核保有国の状況や現代の戦争の実情などをもとに、どの国にどのような交渉をすれば核兵器廃絶につながるかを考え、政策を練りました。本番では、多くのアクターと交渉し、合意文書の作成などを行い、遠い世界の話だった外交を身近に感じることができました。シナリオなどは一切なく、すべてを学生自身の考えで行っているにも関わらず、各アクターが世界の情勢を的確に捉えて行動し、現実の国際社会の動きを如実に反映していたことが、印象に残っています。学部の学びを通して、さまざまな世界の見方を知ったことで、物事を細分化して捉える力がつき、国際社会の諸問題に自分なりの意見や見解を持てるようになりました。

課外活動では、外国人観光客をガイドするボランティアガイドサークルに所属しています。この活動を通して英語力が鍛えられるだけでなく、外国人と意見を交わすことが、学びを深めることにもつながっています。将来は、外資系企業や海外で働いてみたいと思っています。そのためにさらに英語力を磨いています。



片山 純雪 さん

国際関係学部 国際関係学科
国際関係学専攻 3回生
福岡県立筑紫丘高校出身

学科紹介

国際関係学科

IR GS

国際問題を解決に導く人材を育てる多彩なプログラムを提供。

日本語基準と英語基準、2つの専攻の科目を幅広く学べるクロス履修システムを採用。

国際関係学 (IR) 専攻とグローバル・スタディーズ (GS) 専攻では、国際社会の理解・課題解決に不可欠な「理論」、「地域」、「言語」を段階的に学びます。多くの科目は、同じ内容の講義を日本語と英語の両言語で開講しています。異なる専攻の科目を卒業に必要な単位数の半数近くまで履修することができる「クロス履修制度」を活用することで、国際関係学科の学生は、関心のある科目を日本語と英語の両方で学ぶことができます。さらに、国際機関の職員や外交官などの国際公務員を目指す学生向けに「国際公務コース」を開設しており、国際公務に関わる専門的な学びだけでなく、将来のキャリアを見据えたサポートも受けられます。

IR 国際関係学専攻

現代の国際社会が抱える問題を探究し
グローバルに活躍できる力を蓄える。

主に日本語で「国際関係学」を学びます。「国際秩序・平和」、「国際協力・開発」、「国際文化・社会」の3つのクラスターで構成される専門科目、世界各地の「地域研究」科目を体系的に学び、国際社会が直面する多様な課題に挑む力を養います。また、「クロス履修制度」により、英語で開講される科目をグローバル・スタディーズ専攻の学生と共に学ぶことができるなど、グローバルな学習環境が整っていることも特徴です。海外留学は必須ではありませんが、毎年、多くの学生が半年～1年間の長期留学プログラムに参加しています。卒業生は4年間で身に付けた国際関係への深い知見と行動力、コミュニケーション能力を生かし、世界中のさまざまなフィールドで活躍しています。



GS グローバル・スタディーズ専攻

世界から集う留学生と共に英語で学び
日本と世界との架け橋を目指す。

主に英語で「国際関係学」を学びます。学年の半数以上が海外からの留学生です。日本・京都に居ながらにして海外の大学と同様の環境で4年間で過ごします。世界中の国・地域から学びに来ている留学生と切磋琢磨しながら、高度な英語運用能力を養い、多様な文化や価値観に触れることで真の国際コミュニケーションや文化理解の機会を得ることができます。外国籍の同級生や多様なバックグラウンドを持つ教員との共修を通じて、エキサイティングな大学生活を過ごすことができます。また、「クロス履修制度」により、日本語で開講される科目を国際関係学専攻の学生と共に学ぶことができるため、関心のあるテーマについては日本語開講の科目を履修することも可能です。



アメリカン大学・立命館大学国際連携学科

JDP

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、立命館大学国際関係学部とアメリカン大学 School of International Service が連携して一つの教育課程を編成し、両大学が連名で一つの学位(学士(グローバル国際関係学))を授与する、学士課程レベルとしては日本で初となる学科です。

本学科では、立命館大学とアメリカン大学の双方から学生を受け入れます。

両大学の教員による一貫した指導のもと、両大学のキャンパスで2年ずつ学び、日米の異なる視点から国際関係学を学んでいきます。

それぞれの大学の強みや特徴を生かした授業科目やインターンシップ等の実習科目が一つのカリキュラムの中で提供されるため、2年間の留学を含む4年間の学びを体系的かつスムーズに進めることが可能なプログラムとなっています。

アメリカン大学 (American University) School of International Service:

1957年創立。国際関係学のスクールとしては全米で最大規模を誇り、約3,000名の学生が在籍。ワシントンD.C.のキャンパスには、世界約130の国・地域から留学生が集う。“Foreign Policy Magazine(2024)”の“The Top International Relations Schools of 2024, Ranked”では、学部で全米8位、大学院(修士課程)で同8位にランキングされている。

4年間の学び

国際関係学科

グローバルスタディーズ専攻

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科

1 回生	2 回生	3 回生	4 回生		
国際関係学の基礎を「基礎演習」「国際関係学の基礎」で学び、英語・初修外国語(または日本語)を学習します。	専門科目・地域研究科目を受講します。政策決定の場を疑似体験するグローバル・シミュレーション・ゲーミング(GSG)にも参加します。	少人数制の専門演習がスタートし、興味を持つテーマについて研究を進めます。	専門演習での研究を発展させて、4年間の学びの集大成となる卒業論文の作成に取り組みます。		
基礎演習Ⅰ・Ⅱ 英語科目・初修外国語科目 国際関係学の基礎(政治・法) 国際関係学の基礎(協力開発・経済) 国際関係学の基礎(文化・社会) データ分析入門: 数字で見る国際社会 国際連合入門 平和学入門	GSG 国際関係史Ⅰ・Ⅱ 国際政治学 国際行政学 日本外交論 憲法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 国際法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 国際開発論	ミクロ経済学 マクロ経済学 国際協力論 地域開発論 国際文化・社会学 ジェンダー論 多文化社会論 比較文化論	専門演習 安全保障論 国際ジャーナリズム論 国際経済学(貿易・投資) 国際経済学(金融) 環境経済論 宗教と国際関係 移民研究	東アジア研究 東南アジア研究 南アジア研究 中東研究 アフリカ研究 ロシア・ユーラシア研究 ヨーロッパ研究 北アメリカ研究	卒業研究 専門演習 途上国政治論 国際政治理論 日本経済論 日本文化・社会論 表象文化論 メディア論 など
海外留学プログラム 海外留学プログラムについて P.133					
Introductory SeminarⅠ・Ⅱ Academic SkillsⅠ・Ⅱ・Ⅲ Introduction to International Relations Introduction to the United Nations Introduction to Peace Studies Introduction to Law Introduction to Justice Introduction to Linguistics Introduction to Anthropology	Japan and the World Modern World History Global Simulation Gaming Theories of International Relations Politics for Global Studies Economics for Global Studies Sociology for Global Studies International Law Global Political Economy	Peace and Conflict Studies International Organizations International Human Rights Development Studies Global Environmental Issues International Trade and Investment Global Civil Society and Development Media and Society International Migration	Professional Workshop Japanese Society Japan - United States Relations Foreign Relations of Japan Korean Studies Chinese Studies Southeast Asian Studies Advanced Seminar Graduation Research		
〈立命館大学(京都)で受講する科目(例)〉 Introductory SeminarⅠ・Ⅱ Academic SkillsⅠ・Ⅱ・Ⅲ Introduction to International Relations Introduction to the United Nations Introduction to Gender Studies Introduction to Peace Studies Economics for Global Studies Macroeconomics Microeconomics ※立命館大学から学修を始める際の一例。 学修スケジュール、選択する分野などによって選択できる科目は異なります。		〈アメリカン大学(ワシントンD.C.)で受講する科目(例)〉 SISU-106 First Year Seminar SISU-206 Introduction to International Relations Research SISU-212 China, Japan and the United States SISU-306 Advanced International Studies Research SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia SISU-359 Environment, Conflict, and Peace SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance SISU-393 International Relations Theory			

・上記は2026年度のカリキュラム(予定)です。科目名称等が変更になる場合があります。
・学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➡ 教養科目 [P.130](#)

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

外国語の選択 (国際関係学科)

国内入試入学者: [必修] 英語 [選択必修] ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／朝鮮語から1言語
留学生入試入学者: [必修] 英語と日本語
アラビア語・ロシア語も学べます。

国際関係学部の特長的な学び

グローバル・シミュレーション・ゲーミング (Global Simulation Gaming)

2回生全員が参加する実践型科目です。受講生各々に国連の事務総長や米国大統領、難民支援NGO代表、テレビメディアといった世界の主要人物の役割が与えられ、政策立案、交渉過程、政策行使など、国際政治、国際経済の動きを実体験しながら学修します。最新の国際問題について、各々が異なる立場で発想・思考し、議論を展開する必要があり、与えられた役割の背景や現状を深く理解するとともに、議論する相手に関する知識を深めることで、グローバル社会における多角的な視野と考え方を養います。



英語運用能力・アカデミックスキルの修得

国際関係学専攻では、「国際関係学」の知見を深めるための高度な専門英語運用能力を養います。アカデミックな英語力を修得することによって、「諸問題を多角的に捉え批判的に読み解く力」と、自身の主張について「根拠を示し説得力のある説明ができる力」を養います。グローバル・スタディーズ専攻では英語でリサーチ・スキルを学び、文献レビューを行いながら、研究計画を立て、APAスタイル[※]のレポートや論文を作成できる力を養います。

※学術論文などアカデミックな分野の文章に使われる書式



教員紹介

国際色豊かで、多様な研究を進める教員体制

国際関係学部には、欧米、ラテンアメリカ、東アジア、東南アジア、中東、アフリカといった世界中の地域を専門とする教員、あるいはUNHCRやIMF、世界銀行といった国際機関での勤務経験がある教員などが在籍しています。教員の出身国・地域もアメリカ、イギリス、フランス、ドイツといった欧米だけでなく、中国、韓国、ハンガリーなど、多様性に富んでいます。加えて、実務の現場を知り尽くした客員教授陣が現場のリアルな感覚を伝え、国際経験豊かな教員から国際関係を体系的に学び、国際感覚を磨くことができます。

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

詳しくはこちら ▶



教員	
安高 啓朗	批判的国際関係理論、国際政治経済学
足立 研哉	国際政治学、軍縮・軍備管理論
雨河 祐一郎	開発論・環境論、社会開発、農業・環境社会学、東南アジア地域研究(タイ)
五十嵐 優子	社会言語学、World Englishes、言語政策と言語教育
池田 淑子	カルチュラル・スタディーズ、記号学
石川 幸子	紛争・平和と開発、国際開発協力、人間の安全保障、ASEAN
板木 雅彦	国際経済学、国際過剰資本論
岩田 拓夫	国際政治学、アフリカ研究
植松 大輝	開発経済、貧困と格差、持続可能な開発、国際協力
大田 英明	国際金融論、国際経済論、国際開発金融、開発マクロ経済学、各国経済
大山 真司	カルチュラル・スタディーズ、メディア研究、文化・クリエイティブ産業研究
越智 萌	国際法学、国際司法、国際制度論
O'MOCHAIN, Robert	ジェンダー、人権、言語と自己存在意義の関係性
川村 仁子	国際関係学、政治学、規範学
河村 律子	農村社会学、農業経済学
北村 理依子	国際法、国際人権法
君島 東彦	憲法学、平和学
全 友子	社会学、在日朝鮮人史研究
KIM, Viktoriya	社会学、移民論・家族社会学・ジェンダー論
KUNSCHAK, Claudia	異文化間コミュニケーション、言語教育学
KOGA-BROWES, Scott P.	メディア論、テレビニュースの映像記号論分析
小林 主茂	グローバル国際関係理論、国際秩序、国際安全保障論、平和構築論、国際開発、国際機構論、ロシア外交政策、EU外交政策
佐伯 千鶴	文化外交
嶋田 晴行	開発経済、国際関係論、地域研究(南アジア、東南アジア)
白戸 圭一	国際ジャーナリズム論、アフリカ地域研究
末近 浩太	中東・イスラーム地域研究
SMITH, Nathaniel M.	文化人類学、ナショナリズム、文化外交、ジャパNSTADYーズ、都市学、社会運動
園田 節子	トランスナショナリズム、中国移民
孫 軍悦	日中比較文学、日本近現代文学、翻訳論
田川 昇平	社会学、インドネシア研究、人種エスニシティ論、都市論
DANISMAN, Idris	宗教と国際関係、イスラーム思想、トルコ研究、中東地域研究、多文化共存・共生

TAILLANDIER, Denis	カルチュラル・スタディーズ、日本SF研究
CHADHA, Astha	宗教と国際関係、インド外交政策、南アジア政治研究、インド太平洋の女性・平和・安全保障
CHEUNG, Yukman	文化・歴史社会学、ナショナリズム、都市論、日本研究、アニメ、香港研究
辻本 登志子	社会学、フィリピン移民労働者研究、ジェンダー
徳丸 浩	金融論、国際金融論
鳥山 純子	ジェンダー論、中東ジェンダー研究、文化人類学
中川 涼司	開発経済論、中国経済論
中戸 祐夫	国際政治経済学、日米経済紛争
中本 真生子	比較文化学、現代アルザス史
西村 智朗	国際法学、国際環境法
林 大祐	環境政策学、国際協力論
福海 さやか	国際関係学、安全保障論
FRENCH, Thomas W.	日本史、日本政治論、日米関係史
星野 郁	国際経済学、EU経済・通貨統合
HO, Thanh Tam	環境研究、開発経済学、持続可能な開発、東南アジア地域研究、政策研究
本名 純	比較政治学、東南アジア研究
奉 鉉京	応用言語学、異文化コミュニケーション、翻訳通訳研究
益田 実	国際関係史、イギリス政治外交史
松坂 裕晃	グローバルヒストリー、人種・エスニシティ研究
松田 正彦	東南アジアにおける農業・農村開発
三井 久美子	日本語教育学、会話分析
南野 泰義	比較政治学、北アイルランド政治史
森岡 真史	経済学、経済理論、思想史
矢根 暹佳	国際経済学
山口 智美	文化人類学、日本研究、ジェンダー論
RAJKAI, Zsombor Tibor	社会文化研究、非西欧文化圏の近代化研究、家族研究
芦 苑雪	開発経済学、国際金融、アジア経済論、東南アジア地域研究
渡辺 宏彰	比較政治経済、経済政策、地域統合、国際関係理論
渡邊 松男	地域統合、経済開発、ODA国際協力、持続可能な開発、アフリカ、ボスニア、平和構築
王 通	応用ミクロ経済学、応用計量経済学、公共経済学
客員教授	
山本 忠通	元国際連合事務次長

卒業生からのメッセージ

情報を正しく伝える難しさ大切さを実感「答えのない問題を考えたい」と記者を志した。

学生時代、特に印象に残っているのは、カナダのブリティッシュコロンビア大学(UBC)への交換留学です。世界中から多様な学生が集う環境での学びは、非常に刺激的でした。国際関係学部やUBCでの学びを通じて実感したのが、情報を正しく伝える難しさ大切さです。「答えのない問題をじっくり考えたい」「自分とは異なる意見の人の話も聞きたい」との思いが生まれたことが、記者を志すきっかけになりました。現在は、経済部の記者として主に財務省を担当。国会の会期中は財務省や議員会館、国会議事堂などを走り回って取材し、記事を書く日々です。名古屋本社社会部時代に、広島サミットの取材メンバーに抜擢され、「英語を使いながら国際政治の最前線取材したい」という目標を叶えることができました。次は、入社時から目指している海外特派員になることが目標です。

2011年、国際関係学部に入学。2016年4月、株式会社中日新聞社に入社。滋賀県・大津支局に勤務時に、冤罪事件「呼吸器事件」の取材に携わる。この報道により、取材班の一員として「第19回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」などを受賞。2021年、『戦時下の東南海地震の真相-中島飛行機半田製作所を中心に』（共著：西まさる氏）を出版。



柴田 啓成 さん

株式会社ベカレント・コンサルティング コンサルティング本部
(国際関係学部 国際関係学科 2015年卒業)

グローバルな環境で学んだ経験がコンサルティング業務に活かしている。

社会全体にインパクトを与えられる仕事に挑戦したいと思い、コンサルティング業界を志望しました。現在は自動車メーカーを中心としたプロジェクトに参画し、クライアントの事業課題の解決や経営戦略の立案・実行を支援しています。市場調査や競合分析、新製品開発のプロジェクトマネジメントなど、業務は多岐にわたります。大学生活で最も印象深いのは、ブリティッシュコロンビア大学(UBC)に留学したこと。多様なバックグラウンドを持つ学生と学び、リーダーシップやコミュニケーションスキルを磨くとともに、多様な視点を尊重しつつ、自分の意見を発信する力を培いました。こうした力は、コンサルティング業務でも大いに役立っています。コンサルタントとしての力量をさらに高め、変化の激しい社会の中で持続的に成長し、多様な分野で活躍できる人材になりたいと思っています。

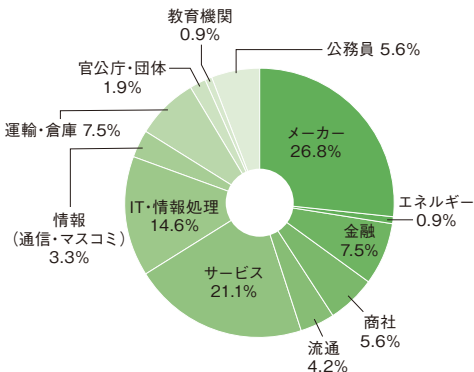
2011年、国際関係学部に入学。2012年9月から「国際リーダー養成プログラム」第1期生としてUBCに留学。2015年4月、パナソニック株式会社に入社。オートモーティブ営業本部、Panasonic Automotive Systems Company of America (PASA) で勤務。2022年5月、株式会社ベカレント・コンサルティングに入社。コンサルティング本部で経営戦略の立案・実行支援などに従事する。

進路・就職状況

グローバルな視野で世界の第一線で活躍。

世界に広がるネットワークを生かして、国際的な機関やメーカーなど企業の国際業務セクションに多く採用されています。世界の有力大学院にも多数進学しています(ジョージ・ワシントン大学、オックスフォード大学、ジョンズ・ホプキンス大学など)。

[2023年度卒業生 業種別進路決定状況]



[2023年度卒業生 進路・就職先一例]

(50音順)		
アクセンチュア(株)	シャープ(株)	(株)毎日新聞社
アビームコンサルティング(株)	ANA(全日本空輸(株))	(株)三井住友銀行
アマゾンジャパン合同会社	ダイキン工業(株)	三菱商事(株)
(株)エイチ・アイ・エス	東海テレビ放送(株)	三菱電機(株)
エイベックス(株)	豊田通商(株)	(株)読売新聞大阪本社
関西電力(株)	日産自動車(株)	楽天グループ(株)
京セラ(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	(株)リクルート
(株)クボタ	日本航空(株)	ローム(株)
独立行政法人国際協力機構	日立造船(株)	(株)ロッテ
(株)サイバーエージェント	(株)ファーストリテイリング	国家公務員一般職(国土交通省)
サッポロビール(株)	富士通(株)	国税専門官
JFE商事(株)	Bloomberg L.P.	地方公務員(上級職)

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

PICK UP!

数字で見る国際関係学部

国際関係学部が誇る特色をデータで紹介します。





文学部

■ 人文学科

人間研究学域 (哲学・倫理学専攻／教育人間学専攻)

日本文学研究学域 (日本文学専攻／日本語情報学専攻)

日本史研究学域 (日本史学専攻／考古学・文化遺産専攻)

東アジア研究学域 (中国文学・思想専攻／東洋史学専攻／現代東アジア言語・文化専攻)

国際文化学域 (英米文学専攻／ヨーロッパ・イスラーム史専攻／文化芸術専攻)

地域研究学域 (地理学専攻／地域観光学専攻)

国際コミュニケーション学域 (英語圏文化専攻／国際英語専攻)

言語コミュニケーション学域 (コミュニケーション表現専攻／言語学・日本語教育専攻)

取得学位	学士 (文学)
アドミッション・ポリシー	文学部では、以下のような学生を求めます。 1 人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者 2 人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者 3 学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を主体的に追求・解決しようとする意欲を持つ者



幅広い領域の学問を融合して、 現代社会にふさわしい人文学を創り上げる

文学部 (College of Letters) は、文字 (letters) によって表現される人間の精神や人間が生み出した文化を「文 (もん) ずる」 (研究する) 学部です。哲学・文学・歴史学・地理学・言語学・芸術学など幅広い専門領域から構成される「人文学」 (Humanities) の重要性は日に日に増えています。なぜなら、人文学は人間の生き方を考えるための基盤となる学問だからです。複雑で変化の激しい現代社会を生きるためには、一人一人が「善悪」や「人間にとって価値あるもの」についてしっかりと考えなければなりません。数千年にわたる人智の積み重ねによって構築されてきた指針を、現代社会の問題解決に向けていかに活用するか。研究に関連した分野を広範囲に学び、融合しながら、新しい学問を創り上げることが課題となります。

立命館大学文学部では、関連しあう複数の専攻を束ねた「学域」を設定し、学問の境界を越えて学べる仕組みをいち早く整えることで、時代が求める人文学に対応してきました。

さらに、幅広い人文学の専門的素養を生かして堅固なグローバル感覚を養い、国境を越えて世界に学んでいく「地球市民」の育成に力を入れています。地球市民とは、単に外国語の運用能力が高いだけでなく、さまざまな歴史や文化など、それぞれ異なったバックグラウンドを持つ人や地域、国を理解し、尊重できる人のことです。その実現に向け、マレーシア・シンガポールなどでの短期研修プログラムも開設しています。

立命館大学には、全国・世界から個性豊かな学生が集まっています。また、教員と学生が近い距離で学べる少人数教育システムも特長です。グローバルな視点と専門的素養や教養を修得しながら、「人間と文化」について学ぶのにふさわしい京都で、人文学を探究してください。

STUDENT'S VOICE

文学の窓から世界を見渡す。言葉でつなぐ文化と未来。

高校の授業で夏目漱石について学んだ際に、西洋と日本の文学との関わりに興味を持ちました。立命館大学文学部を志望したのは、海外文学を通して自国の文化や社会をより深く理解したいと考えたからです。

現在、英文学史や米文学史の授業では、各時代の文学が成立した社会背景と、当時の問題が文学的技法や潮流にどう反映されているかを学んでいます。また外国語学習の副専攻も履修し、第二外国語としてフランス語の発展的な学習にも取り組んでいます。おかげで英米文化とヨーロッパ文学とのつながりも見えてきました。英米文学を学ぶ意義は、普遍的な事柄や、特定の時代や社会で起きた問題などを、ただ事実として受け取るのではなく、当時の人がそれをどう受け止め、見てきたのかを知るところにあると考えています。また、作品を論じるには、自身とは異なる意見に耳を傾け、根本に何があるのかを理解する必要があり、多様性を追求する現代で役立つ力を養えていると感じています。一方、学域・専攻を超えて横断的に学べるクロスメジャー制度を活かし、デジタル技術を活用・応用して人文学を探究するデジタル人文学を学んでいます。新しい着想を得るなどいつも刺激を受けています。

課外活動ではマンドリンクラブに所属し、大学から新たな楽器を始めました。2024年度は部長と指揮者を務め、仲間と心を合わせて演奏するという無二の経験を通じ、自身の精神的成長につながりました。

将来は学びを通じて培ったことを社会に還元しながら、より良い未来の創造に貢献したいと考えています。誰かの苦しみや、社会のひずみに敏感でいられるような人間となり、文学を通して自分の手の届く範囲の人々を救える仕事ができれば幸いです。まず自分自身の心の声を大切にしながら取り組んでいきたいと考えています。



寺本 勢亜 さん

文学部 人文学科 英米文学専攻 4回生
大阪府立茨木高校出身

人間研究学域

人間を根源的に見つめ直し、人間であることに関わる知の可能性を切り拓く。

哲学・倫理学専攻

人間の根源的な問題に立ち返って
よりよく生きるための指標を見つける。



哲学・倫理学は、2600年もの歴史をもつ最古の学問です。哲学・倫理学を学ぶことは、思索の歴史をたどることであり、知の集積を自らの思考の糧とすることなのです。今、社会情勢は驚くほどのスピードと多面性をもって激しく変化しています。既存の価値観が大きく揺らぎ、新時代にふさわしい考え方が求められています。こんな時代だからこそ、「人間とは何か、どう生きるべきか、世界とは何か」という根源的な問いかけが大切です。哲学・倫理学専攻では、すべての学問の基礎となり、人生の指標を得ることにつながる哲学・現代思想と倫理学・応用倫理学を系統的に学びます。

教育人間学専攻

人間・教育・心の3領域を連動させて
現代社会が抱える問題にアプローチする。



教育人間学専攻では、人間形成と教育に関わるさまざまな事象を多面的に探究していく中で、人間のあり方を総合的に考えます。心身の関係、健康、意識の深み、生と死、生きる意味、自己実現といった現代社会が抱える人間の問題に迫り、解決に導く学問です。授業には実習形式をふんだんに取り入れ、体験や実践を重視しながら、人間の内面や人間関係、社会に対する理解と洞察力を高めていきます。教育と人間に関わる総合的な研究活動を通して、人間であること、教えることと学ぶことを根底から支える「生きた知」の修得を目指します。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
人間研究学域	哲学・倫理学専攻	◎/○	◎/○	◎/○	○	○	○	○
	教育人間学専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

嶋野 祐介	伝承児童文学(子守唄・わらべうた・民間説話など)の教育人類学的研究
加國 尚志	メルロ＝ポンティ存在論における文学の位置づけ
加納 友子	コンテンプラティヴ教育
亀井 大輔	現代フランス哲学、とくにデリダ思想についての研究
川那部 隆司	日常経験から獲得される知識の解明とその教育への応用
鈴木 崇志	現象学的他者論
辻 敦子	若手教師の資質形成過程についての臨床教育学的研究

永守 伸年	近世ヨーロッパの倫理思想史ならびに現代の社会哲学
西村 拓生	「美的なもの」の人間形成的意義に関する思想史的研究
林 芳紀	現代社会の諸問題に対する倫理学的研究
福原 浩之	青年期の心の教育の理論的・実践的研究
布山 美慕	文章や物語の理解および主観的体験の認知科学研究
細尾 萌子	フランスと日本における思考力・判断力・表現力の指導と評価
山内 清郎	子どもの世界(成長・発達・不安・危機など)の人間学的・臨床教育学的研究

卒業論文の
テーマなど、
より詳しい
情報はこちら



日本文学研究学域

日本語学・日本文学・図書館情報学の新たな意義を探究する。

日本文学専攻

日本文学の故郷・京都で多様な研究成果に
触れながら作品に新しい光を当てる。



日本文学の研究対象は、日本固有の文献や文化現象です。古事記、万葉集、源氏物語などから近世、近現代にまで至る多様な日本文学を総合的に学びます。今日までの学問的蓄積を踏まえ、さまざまな角度から切り込む最新の手法により、作品の理解と批評に新たな光を当てます。多くの文学作品が生まれた京都の地の利を活かし、先人の研究成果を論文や資料で確認しながら研究に取り組みこともでき、絵画や演劇、映像分野の研究、外国文学の比較研究といった新たな研究にも挑戦できます。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
日本文学研究学域	日本文学専攻	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○
	日本語情報学専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

赤間 亮	日本演劇・美術、日本文化情報学の研究
有田 節子	推論過程を明示する言語形式に関する理論的実証的研究
小椋 秀樹	コーパスを活用した日本語の語彙、表記に関する研究
岡崎 友子	コーパスを利用した日本語文法の歴史的用法・変化に関する研究
川崎 佐知子	『源氏物語』などの平安王朝物語文学の文献学的研究・注釈書研究
久野 和子	図書館の社会的・文化的機能についての研究

田口 道昭	「明星」派文学の研究(日本の近代文学・近代短歌の研究)
内藤 由直	日本近代文学、文学とナショナリズム、近代文学論争の研究
中本 大	「京都」イメージの歴史の変遷と現在、本邦中世の禅林文学、中世近世の漢文学
花崎 育代	大岡昇平、三島由紀夫など戦後文学を中心とした日本近現代文学
穂美 智章	アニメを「読む」、日本近現代文学研究

卒業論文の
テーマなど、
より詳しい
情報はこちら



日本史研究学域

日本史から政治・社会・文化を解明、新しい時代を切り拓く。

日本史学専攻

日本の歴史をあらゆる角度から読み解き現代、そして未来の本質を探究する。



積み重なった歴史がいかに現代へとつながり、これからどんな時代を創っていくのか、その本質を探究することが日本史学の醍醐味です。世界遺産クラスの社寺をはじめ多様な歴史的資産が点在する京都で、日本史を学ぶための研究技術や方法論、歴史観を学修します。充実した歴史的文献を活用しながら、国際的な歴史学、民俗学や美術史など周辺諸学の動向にも目を配り、日本の歴史を政治・社会・文化・対外関係など幅広い領域から学修・研究します。必要に応じて絵画史料、もの史料、聞き取りなども有効に活用して、幅広い視野から日本史を見つめる目を養います。

考古学・文化遺産専攻

人類共通の財産である遺跡・遺物を次代に継承し有効活用する方法を学ぶ。



遺跡や遺物の研究を通じ、社会や文化の成り立ちを解明していく学問です。文字や言葉では探り切れない時代や社会の側面に触れることで、幅広い視野を身につけます。日本列島だけではなく周辺地域や世界にも目を向け、日本に対する客観的・多面的な理解を目指しています。また、遺跡・遺物の文化遺産としての価値を社会に還元するための保存と活用に関する学修も行います。実践的な調査方法や自然科学的研究を実習するとともに、学芸員課程の授業とも関連したカリキュラムで将来につながる能力を養います。古都、京都で学べることも大きな魅力です。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
日本史研究学域	日本史学専攻	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○
	考古学・文化遺産専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

大田 社一郎	日本中世史・日本宗教史
岡寺 良	日本城郭史・日本の山岳信仰の歴史
小関 素明	近代日本の主権論、立憲制、官僚制、政党政治
木立 雅朗	素業考古学、京都の伝統工芸
田中 聡	地域資料をもとにした京都像の変容と住民の歴史意識

谷 徹也	近世的領主・領民関係の構築過程
辻 浩和	日本中世の芸能と身分・集団・女性、文化的ネットワーク
長友 朋子	弥生・古墳時代の器物生産の研究
東島 誠	〈つながり〉の精神史、南北朝・戦国等、変革期の歴史・思想
水口 幹記	日本古代史、〈術数文化〉研究、漢籍受容史、東アジア文化史

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら



東アジア研究学域

ダイナミックに発展するアジア、その新時代を担う人材を育てる。

中国文学・思想専攻

文学・思想から豊かな知識を学びアジアと世界の未来を展望する。



中国で生まれた漢字は東洋の文化圏形成の核となり、中国の文化は東アジア地域全体の基盤となってきました。これからのアジアを考えるには、その豊かな文学・思想を学び、現在を見据えることが欠かせません。中国文学・思想専攻では、大学所蔵の膨大な文献を活かしながら、時代やジャンルごとのエキスパートが研究を導きます。文学と思想に息づく人間の心の本質を学び、世界で活躍するアジア発の国際人を目指します。

東洋史学専攻

歴史・文化を読み解くことを通してアジアの未来について考える。



近年、中国をはじめとするアジア諸国は急速な経済発展を遂げ、文化面でもその存在感を増しつつあります。東洋史学専攻では、アジア社会の歴史・文化を読み解き、時代や地域を視野に入れながら、その構造を理解することを目指します。アジアの経済発展や政治的紛争の要因を解明するカギもそこにあります。東アジア史の核となる中国の歴史研究は、日本の歴史を問うことにもつながります。アジアと日本の明日を考える学問です。

現代東アジア言語・文化専攻

中国・朝鮮半島の「今」を学ぶことで新時代を担う国際人として成長する。



東アジアの人々は、革命・戦争・植民地を経験する一方で、相互の交流を通じて、その苦しみや分断を克服し平和と共同を希求してきました。今日においても解決できていない問題はありますが、他方、こうした経験や交流は、多様な文化を生み出し多彩な魅力を創出しています。本専攻では、実践的な言語の習得と、海外実習などを通じて、中国・台湾・香港・朝鮮半島や日本、さらには世界各地に暮らす東アジアに出自を持つ人びとの多様な営みや想いに寄り添うことを目指します。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
東アジア研究学域	中国文学・思想専攻	○	○	○	◎/○	○	◎/○	○
	東洋史学専攻							
	現代東アジア言語・文化専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

庵道 由香	朝鮮近現代史と日韓関係
石井 真美子	古代兵書思想・文献的研究、銀雀山漢簡研究
井上 充幸	中国近世文化史・社会史
上野 隆三	中国・香港・台湾映画と中国古典小説
尾崎 順一郎	中国近世の学術と思想
金津 日出美	帝国日本と漢医学の歴史的展開

佐々 充昭	朝鮮近代史と現代韓国文化論
鷹取 祐司	出土文字資料を用いた秦漢時代の法律・制度の研究
萩原 正樹	詞学研究
松本 保宣	中国唐王朝の政治を宮殿の構造・機能を中心に解明
三須 祐介	近現代中国演劇史・中国語圏の文学
宮内 肇	近現代中国の地域社会史

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら



国際文化学域

多様な歴史・文化と向き合い、グローバルな課題解決能力を養う。

英米文学専攻	ヨーロッパ・イスラーム史専攻	文化芸術専攻
--------	----------------	--------

英語圏の文学・文化研究を通して
社会と人間への考察を深める。



英米を中心とする英語圏の文学作品研究を通して、英語表現の特性、作品の文化的・歴史的背景、人間と社会の関係のあり方について考えます。さらに言語的感性を高め、異文化への理解を深めます。また、「英会話」「英作文法」「英文演習」「翻訳演習」などの演習系科目やネイティブの教員による科目を通して「読む・書く・聞く・話す」能力とともに、高度な表現力と論理的思考力、高度なコミュニケーション能力を養成します。

ヨーロッパとイスラームの歴史から
グローバル化社会の未来を構想する。



交流や対立を繰り返してきた二つの文明を視野に入れることで、現代世界の成り立ちや構造を歴史的視点から幅広く考察し、過去と現在の対比から人間社会の多様性や可能性を探究します。また自分の問題意識をもとに時代や地域を越えた広範なフィールドを研究するためのアプローチを考えていきます。歴史的視野を広げることで、混沌とする現代のグローバル化社会にも敏感に対応できる力を養い、異文化への深い洞察力と豊かな創造力を培います。

世界中のさまざまな文化に
多角的な視点でアプローチする。



さまざまな言語で展開される物語や宗教、信仰、ファッション、音楽、絵画、建築、マンガなど、多岐にわたる文化が対象です。文化人類学、芸術学、社会学、歴史学、言語学、文学など従来の学問の枠組みを越えた横断的な視点で世界が抱える多様な問題にアプローチします。世界と向き合うために必要な経験や、従来の研究方法ではたどり着けなかった新しい発見といった、かけがえのない可能性との出会いが待っています。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
国際文化学域	英米文学専攻							
	ヨーロッパ・イスラーム史専攻	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○
	文化芸術専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

上田 高弘	モダン・アートの批評的研究と批評実践
小澤 一郎	近現代西アジアの軍事史・交易史
金山 亮太	ヴィクトリア朝を中心としたイギリス小説と演劇
唐澤 靖彦	軍事史、特に近代要塞築城史
國司 航佑	ヨーロッパ(特にイタリア)の思想と文学
小寺 未知留	戦後アメリカの音楽理論史およびサウンド・アートの研究
小林 功	6-10世紀のビザンツ帝国と地中海世界
崎山 政毅	ラテンアメリカの近現代の思想形成と文化受容
須藤 直人	太平洋諸島の比較文学・文化
竹村 はるみ	近代初期イギリスの文学・文化
千川 哲生	フランス文学、特に17世紀のフランス演劇

長澤 麻子	ドイツ現代思想
中村 忠男	グローバリゼーション時代における移動と文化変容
中村 仁美	20世紀前半のアイルランド文学
NATHANIEL H PRESTON	Cross-cultural Encounters in Literature
西林 孝浩	東洋美術における地域性と普遍性
能勢 和宏	フランス近現代史、欧州統合史
馬場 多聞	中世西アジア・インド洋海域史
宮本 直美	ドイツ市民社会と音楽、文化政策論、宝塚歌劇研究
森永 貴子	帝政ロシアのユーラシア商業およびロシア・アメリカ会社史

卒業論文の
テーマなど、
より詳しい
情報はこちら



地域研究学域

空間を生きる人間の営為(人文現象)を「地域」のなかで探究し、グローバル化する現代の諸問題に取り組む。

地理学専攻	地域観光学専攻
-------	---------

地表上の現象を
空間(地域・場所・景観)の視点から解き明かす。



地表上で起こるさまざまな現象を空間的な観点から明らかにすることが目標です。自然現象はもちろん、経済や文化といった人間の営みを研究対象として、多様な手法(調査・分析)を用いてアプローチします。災害や環境問題など、地域の自然と生活とが密接にかかわる現代的な諸課題についても、フィールドワーク(現地調査)のみならず、世界でもトップクラスの研究環境を誇るGIS(地理情報システム)を活用して、積極的に取り組んでいます。

複雑な現象である観光を
地域に注目して多角的な視座から読み解く。



観光とは、グローバルな現代社会の特徴を濃厚に映し出している現象です。地域観光学専攻では、さまざまな移動が関わり合うなかで織り成される、複雑で重層的な観光の姿を、地域に注目して読み解いていきます。文化・社会・歴史・経済などあらゆる側面に目配せしながら、フィールドワーク・質問紙調査法といった多様な調査手法を用い、世界・国・都市・集落などのいろいろな空間スケールから観光現象について考察します。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
地域研究学域	地理学専攻	◎	○	○	○	○	○	○
	地域観光学専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

遠藤 英樹	ツーリズムから見えてくる社会・文化のあり方
小野 真由美	生きることをめぐるツーリズム・モビリティーズに関する文化人類学的研究
加藤 政洋	都市文化研究
河角 直美	歴史GISを活用した近代京都研究、環境史・災害史研究
河原 典史	近代の植民地朝鮮・台湾とカナダに関する歴史地理学研究
神田 孝治	観光地の形成に関する文化地理学的研究
古賀 慎二	都市の内部構造に関する地理学的研究

寺床 幸雄	農山村における産業・生活と社会関係に関する研究
花岡 和聖	ビッグデータをを用いた地理空間分析
松永 光平	自然と人間との関わりの変容に関する地理学的研究
村中 亮夫	持続可能な社会のための防災と環境保全に関する地理学的研究
矢野 桂司	地理情報システム(GIS)を活用した地理学的研究
山本 理佳	文化資源化と地域社会に関する地理学的研究

卒業論文の
テーマなど、
より詳しい
情報はこちら



国際コミュニケーション学域

英語圏文化の知識と高い英語運用能力を使い、国際社会で活躍する人を育成する。

英語圏文化専攻

英語圏の文化、社会、歴史について学び、グローバルな幅広い視野を身につける。



北アメリカやイギリス諸島、オセアニア地域やカリブ海、南アフリカといった英語圏地域の文化・社会・歴史について学び、研究します。英語圏地域はグローバル化推進の重要な拠点の一つとして機能するなど、政治や経済において重要な役割を果たし、文化は現代の国際社会に大きな影響を及ぼしています。英語圏の動きは世界の動きと密接な関係を持っており、そうした動きを多面的・重層的に学ぶことで、将来、世界市民として活躍する上で不可欠な、広い視野を身につけます。文化の研究は人間洞察を深めます。また学術英語 (EAP) 科目や英語で提供される専門科目、留学プログラムを通じて、英語の運用能力を高めます。4年間の最後には、大学でのまなびの集大成として、英語で卒業論文を書くことも特徴です。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
国際コミュニケーション学域	英語圏文化専攻	◎	○	○	○	○	○	○
	国際英語専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

石川 まりあ	19世紀アメリカ文学・文化研究、文学ジャンルと知の境界 (the unknowable) の表象
江口 朗子	日本の英語学習者における外国語習得モデルの構築
岡本 広毅	中世イングランドの言語と文学、英語の歴史とナショナル・アイデンティティ
小川 真和子	アメリカとハワイ、日本の関係を歴史的に理解する
久屋 愛実	ことばの変異と変化に関する実証的研究
薩摩 真介	海の歴史を中心とする近世・近代イギリス史、および大西洋世界、とくに英語圏カリブ海地域の歴史
佐野 愛子	バイレラシーの発達に資する教育

占 イン	学習者の主体性と読み書きに基づく多言語習得
杉村 美奈	複雑述語形成メカニズムの解明
根本 浩行	社会言語学、社会文化的アプローチによる第二言語習得研究
MICHAEL JAMES DAVIES	Vocabulary Acquisition
MATTHEW THOMAS APPLE	第二言語習得における個人差 (性格・スピーキング不安・動機づけ・学習方略など) についての研究
水島 新太郎	ジェンダー・男性学・インターセクショナリティに関する比較文化研究
山本 めゆ	グローバル・サウスと〈サウス〉の変遷に関する研究

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら



言語コミュニケーション学域

“ことば”と“コミュニケーション”にかかわる多様な問いを探究し、実践する。

コミュニケーション表現専攻

“ことば”が人と人をつなぐコミュニケーション場面から文章・音声表現までを研究・実践する。



コミュニケーションの理論や方法を学びながら、多様な“ことば”の表現の研究・実践を目指します。教育の柱は二つ。日常的な場面からプレゼン・面接・接客・診療・演劇・スポーツまで、多様なコミュニケーションの分析と実践を学ぶ「コミュニケーション研究・実践」と、新しいメディア環境における文芸 (小説・戯曲・歌・話芸)、放送 (アナウンス・朗読)、広告など表現の分析と実践を学ぶ「言語表現メディア研究・実践」です。こうした学びから、自己と他者との関係性を再発見し、グローバル社会や変化するメディア環境に対応できる次世代型コミュニケーション能力を養います。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
言語コミュニケーション学域	コミュニケーション表現専攻	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○	◎/○
	言語学・日本語教育専攻							

第1外国語：◎ 第2外国語：○

[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

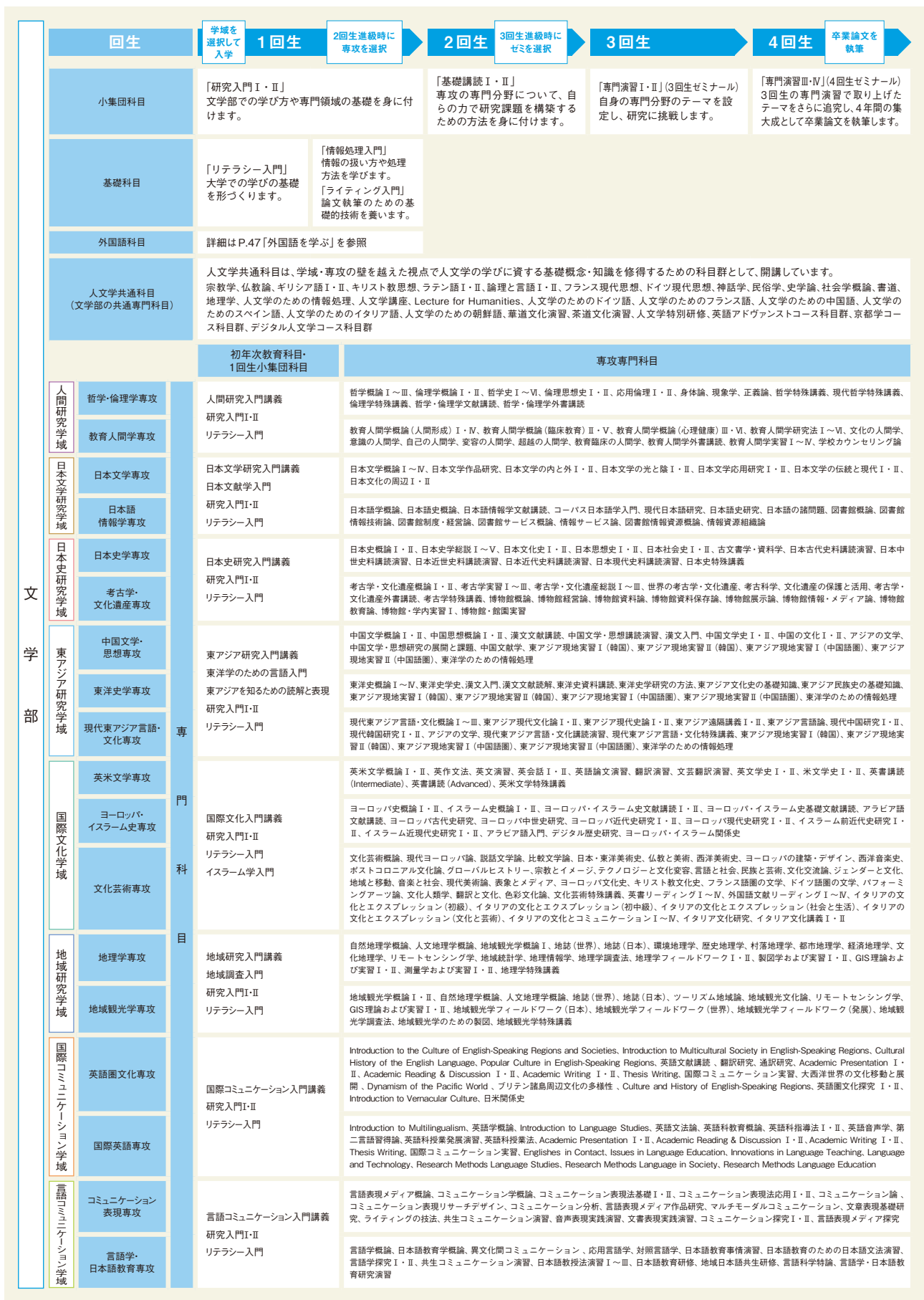
岡本 雅史	言語・非言語コミュニケーション研究、認知言語学と語用論
北出 慶子	多言語・多文化社会のコミュニケーションと言語教育
小林 明子	第二言語としての日本語の習得と心理
佐々木 冠	日本語方言の文法記述と理論的含意の追求
城 綾実	会話分析、身体性、同期現象、相互理解のメカニズム
田浦 秀幸	言語面・脳科学面から言語習得喪失メカニズム解明研究
滝沢 直宏	現代英語の周辺的現象および慣習的側面の研究

田中 省作	計算言語学、大規模用例集 (コーパス) 等を用いた言語教育・学習支援
DAVID COULSON	第二言語暗示能力の発達、流暢さの発達、第二言語ライティング指導
西岡 亜紀	比較文学・文化、日本文学・文化、声と図像のメディア、文章表現教育
平田 裕	筆記テスト時と日本語会話時の脳活動の近似性と相違性
山崎 のぞみ	話し言葉文法を解き明かす

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら



4年間の学び



・上表は2026年度のカリキュラムです。科目名称等が変更になる可能性があります。

・学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➡ 教養科目 P.130

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

文学部の特長的な学び

充実した初年次教育

〈大学での専門の学びに必要な5つのスキルを総合的に身に付ける〉

大学の専門的な学びにスムーズに移行できるよう、人文学を学ぶために欠かせない基礎的な5つのスキルを身に付ける「リテラシー入門」と、専門の学びに備える「研究入門」という少人数制授業を開講しています。これらを連動させることで、専攻の学びを進めるために必要な知見を総合的に高めていきます。

リテラシー入門：基礎的なスキルを身に付ける。

スチューデントスキル
生き生きとした学生生
スキル。

インフォメーションスキル
さまざまなデータや情報进行处理するためのスキル。

ライティングスキル
大学で必要とされる論
成するためのスキル。

キャリアスキル

在学中から将来のビジョンを描くためのスキル。

研究入門：専門に対応するスキルを身に付ける。

アカデミックスキル

例えば文学と歴史学を比較しながら学び、2回生から始まる専攻での専門研究に対応するためのスキル。

専攻での
学びへ

外国語を学ぶ

〈外国語の履修を通じて、専門分野の学びを深化させる〉

文学部では外国語習得を重視しています。外国語を通して多様な地域の文化や考え方を学び、グローバルな世界を生きるのにふさわしい価値観の涵養が重要だと考えているからです。そのため、外国語運用能力の向上だけでなく、異文化を理解し国際的な視野を醸成することも目指しています。文学部では、外国語科目として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・イタリア語から2カ国語を履修することが必要です(選択できる語種は学域紹介ページで確認してください)。また、外国語を発展的に学ぶことができる専門科目も履修できます。

横断的に学ぶ

フィールドワーク型実習やインターンシップを通じて、京都の歴史・地理・文学などを複合的に学ぶ「京都学コース」、人文学の多様な分野が持つテーマや素材、資源に対して、デジタル技術を活用・応用し人文学を探究する「デジタル人文学コース」、人文学系の題材を教材に、高度な英語運用能力を身に付けると同時に、欧米圏の大学院へ進学できるレベルのリーディング、ライティングを学ぶ「英語・アドヴァンストコース」などがあります。なお、国際コミュニケーション学域の学生は、類似の科目を学域・専攻の専門科目として履修するため、「英語・アドヴァンストコース」への応募はできません。

京都学コース科目一覧

科目区分	科目名
講義	京都学入門（人文学の融合）
	京都学概論（人文学と地域社会）
	京都文化論Ⅰ（京都と歴史）
	京都文化論Ⅱ（京都と日本文学）
	京都まちづくり史
	京都の美術
演習	京都学フィールドワークⅠ
	京都伝統工芸研究
	京都学リージョナルスタディ
	京都学研究法
	京都学フィールドワークⅡ
	京都学フィールドリサーチ
	京都学演習

デジタル人文学コース科目一覧

科目区分	科目名
講義	デジタル人文学入門
	デジタル人文学概論
	人文学のための情報処理
	図書館情報技術論
	図書館情報資源概論
	情報倫理と著作権（仮称）
	デジタル人文学探究（仮称）
演習	コンピュータグラフィックス演習
	テキスト情報処理演習
	空間情報処理演習
	デジタルアーカイブ演習
	プログラミング演習
	データベース演習

英語・アドヴァンストコース科目一覧

科目区分	科目名
演習	Academic Writing & Presentation I
	Academic Writing & Presentation II
	English Reading & Discussion I
	English Reading & Discussion II
	Academic Listening and Study Skills I
	Academic Listening and Study Skills II

卒業論文

〈体系的に人文学の学びを積み重ね、集大成として卒業論文に取り組む〉

文学部では、卒業論文が必修科目となっています。進級とともに専門性を高め、研究の具体的手法を身に付けながら、自身の設定した研究テーマについて、専攻の担当教員の指導のもと「卒業論文」に取り組みます。体系的な学びとして、知識・情報処理能力・論理的思考力・判断力・表現力を鍛え、総合的に駆使できる能力を養います。なお、国際コミュニケーション学域は英語で卒業論文を執筆します。

文学部の特長的な学び

エリアスタディと海外留学プログラム

〈文学部の海外留学プログラムで世界の学びを体験する〉

文学部の幅広い専門分野を生かした「エリアスタディ」は、世界の特定の地域についての理解を目指し、講義受講、実習、フィールドワークや現地大学生との交流にも参加できる履修プログラムです。また、その学びをさらに充実させることができる韓国、中国、マレーシア、シンガポール、イタリアなどへの海外留学・実習のプログラムも設置しています。京都や日本国内の学びに留まらず、国境を越え多様な地域の人々や文化に触れ、文学部の学びをより深化させることができます。

[文学部独自の海外留学プログラム一覧]

プログラム名	国もしくは地域（機関）	実施時期	派遣期間
韓国イニシエーション実習	韓国（ソウル・釜山）	夏期休暇期間中	約1週間
中国イニシエーション実習	中国（深圳・広州・香港または桂林）	春期休暇期間中	約1週間
海外エリアスタディ実習（マレーシア・シンガポール）	マレーシア・シンガポール	夏期休暇期間中	約10日間
海外エリアスタディ実習（バリ）	インドネシア	夏期休暇期間中	約10日間
東アジア現地実習（韓国）	韓国（高麗大学校）	夏期休暇期間中	約2週間
東アジア現地実習（中国）	中国（桂林、程陽、北京または上海）	夏期休暇期間中	約4週間
海外エリアスタディ実習（イタリア）	イタリア（トリノ大学）	春期休暇期間中	約4週間
海外エリアスタディ実習（オーストラリア）	オーストラリア（サザンクイーンズランド大学）	春期休暇期間中	約4週間
人文学特別研修（マレーシア）	マレーシア・ペナン（Penang Heritage Trust）	春期休暇期間中	約4週間
日本語教育研修Ⅰ※1	韓国（祥明大学校）	夏期休暇期間中	約4日間
考古学実習Ⅲ※2	韓国（韓国伝統文化大学校）	夏期休暇期間中	約10日間
延世大学校グローバル創意融合大学国語国文学科との学生交流プログラム	韓国（延世大学校・未来キャンパス）	春学期もしくは秋学期（あるいは両方）	1学期間 もしくは1年間
ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム	アメリカ合衆国（バレンシア大学）	春学期もしくは秋学期	1学期間

※過去の実績であり、派遣先国・地域を含むプログラム内容や実施時期、派遣期間等が変更になる場合があります

※1 言語学・日本語教育専攻の学生のみ参加可能 ※2 考古学・文化遺産専攻の学生のみ参加可能



資格課程

〈教職課程に加え学芸員や図書館司書の資格課程も〉

中学・高等学校教員の教職課程の他、博物館や美術館で働くための学芸員資格課程や、図書館で働くための図書館司書課程の履修と資格取得が可能です。



学芸員課程科目の授業風景



平井嘉一郎記念図書館 レファレンスカウンター

[主な資格課程一覧]

教員免許(※1)	文学部では、中学校の国語・英語・社会、高等学校の国語・英語・地理歴史・公民の教員免許状を取得するための教職課程を履修することができます。
学芸員(※2)	日本史研究学域の考古学・文化遺産専攻では、専門科目の中に学芸員課程科目が含まれており、専攻での専門分野と学芸員課程を並行して学ぶことができます。
図書館司書(※3)	日本文学研究学域の日本語情報学専攻では、専門科目の中に図書館司書課程科目が含まれており、専攻での専門分野と図書館司書課程を並行して学ぶことができます。

(※1) 「英語」の履修は、英米文学専攻および国際コミュニケーション学域以外に所属する学生は選考による事前許可制です。

(※2) 文学部のいずれの専攻でも履修することができます。

(※3) 日本語情報学専攻以外に所属する学生は選考による事前許可制です。

大学院進学プログラム

〈大学院進学を視野に入れた教育プログラム〉

学部在籍中に大学院進学を希望する学生を対象に、大学院（文学研究科）の授業を一部受講できるプログラムを用意しています。3回生時にプログラムへの出願を行い、選考に合格すれば4回生から大学院科目を受講できます（成績要件有）。その後大学院（文学研究科）に進学した場合、4回生時に修得した大学院科目の単位は、大学院進学後に大学院で必要な単位として単位認定されます。大学院進学プログラムで早期に大学院の単位を修得することにより、最短1年間で前期課程を修了（修士学位取得）することも可能です。

卒業生からのメッセージ

文学部ホームページでは、さらに多くの卒業生からのメッセージを紹介しています。



学びの幅広さと深さの両方を追求したことがweb3事業に携わる上での糧になっている。

現在、当社独自のNFT売買サイト「リセラ」の運営と追加機能の開発に携わっています。サイトの閲覧者数や売上を把握し、施策を立案するほか、ゲーム企画研究や業務環境改善などの部署横断プロジェクトにも積極的に参加しています。大学では、副専攻（現・クロスメジャー）でデジタル人文学の学びに注力しました。卒業制作では、VRを使った作品に取り組みました。またアート・リサーチセンターでのアルバイトで、能楽の撮影や駅の展示映像制作なども経験しました。デジタル技術に関する知識・スキルはもちろん、研究を通じて培った課題発見能力や自主的な調査力、資料をまとめるスキルが、日々の業務に役立っています。学びの幅広さと深さの両方を追求できるのが、立命館大学の魅力です。やりたいことにできる限り多く、深く取り組んだことが、仕事をする上でも糧になっています。

2017年、文学部地域研究学域に入学。2021年3月に卒業後、大阪大学大学院 文学研究科 文化動態論専攻に入学。2年間の修士課程を経て、2023年4月、株式会社コナミデジタルエンタテインメントに入社。web3事業部に配属され、オペレーティングプランナーとして、NFT提供ソリューション「リセラ」の運営と機能開発に携わる。



江崎 笙吾 さん

株式会社コナミデジタルエンタテインメント web3事業部
（文学部 人文学科 2021年卒業）

コミュニケーションに関する学びが

顧客との関係構築や円滑な会話に役立っている。

「世界の発展に貢献できる仕事に就きたい」と思い、JFE商事株式会社に入社しました。現在は企業の代金支払いおよび回収業務の管理を担当。営業部門や銀行などとコミュニケーションを取りながら、各取引の進捗の把握や調整を行っています。大学時代力を入れたのは、コミュニケーションに関する学びです。卒業論文では、相槌や会話の「間」が対面あるいは非対面のコミュニケーションで違いが見られるのかを研究しました。学びや研究を通じて得た知識が、仕事での顧客と良好な関係の構築や円滑な会話に役立っています。「自分で考え、挑戦できる」自由度の高さが立命館大学の魅力です。学生が主体的に学び、活動する環境で、将来の可能性を大きく広げられます。大学で得た経験を糧に、将来は海外駐在に挑戦し、グローバルな視点を身につけて企業のグローバル戦略に貢献したいと思っています。

2018年、文学部言語コミュニケーション学域に入学。応援団チアリーディング部に所属し、2回生の時には、全国大会第3位。日本代表に選拔され、世界2位を獲得した。学生団体「立命館大学AVA」に所属し、大学スポーツの振興にも尽力。2022年4月、JFE商事株式会社に入社。営業部門を経て現在は、財務経理部資金為替室で財務経理の管理を担当。

中川 萌々 さん

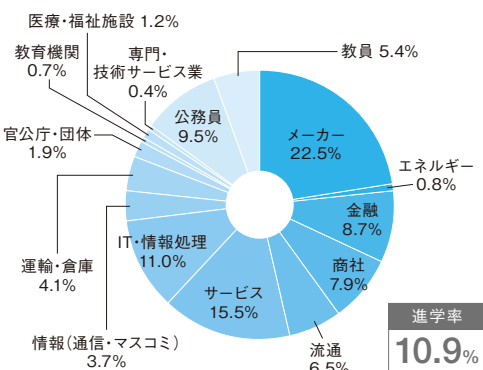
JFE商事株式会社 財務経理部 資金為替室
（文学部 人文学科 2022年卒業）

進路・就職状況

さまざまな現代社会の問題解決に取り組む人材として、幅広い分野で活躍。

多角的かつ総合的な人間理解力を身に付けた卒業生が社会で活躍しています。約10.9%の学部生は進学し、より専門的な知識の修得を目指しています。

[2023年度卒業生 業種別進路決定状況]



進学率
10.9%

[2023年度卒業生 進路・就職先一例]

		(50音順)
アサヒ飲料(株)	SCREENホールディングス(旧:大日本スクリーン製造)	(株)ブリヂストン
味の素(株)		(株)プロダクション・アイジー
出光興産(株)	セガサミーホールディングス(株)	みずほ証券(株)
(株)NTTドコモ	積水化学工業(株)	三菱電機(株)
(株)カプコン	(株)ZOZO	吉本興業ホールディングス(株)
関西電力(株)	大成建設(株)	(株)読売新聞東京本社
キヤノン(株)	大日本印刷(株)(DNP)	(株)リクルート
京セラ(株)	TIS(株)	(株)りそな銀行
(株)クボタ	西日本旅客鉄道(株)	(株)良品計画
KDDI(株)	日本通運(株)	国家公務員一般職
(株)JTB	日本航空(株)	地方公務員(上級職)
資生堂ジャパン(株)	パナソニックホールディングス(株)	教員
	(株)ファーストリテイリング	

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎進学率=(進学者/(就職者+進学者))。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。